

勉誠社

歴史学研究会 会員様対象 特別割引のご案内

全品**20%OFF**

割引クーポンコード:b5070f60f6
(期限:~2025年6月30日)

謹啓

薫風の候、日頃より、弊社をお引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。
さて、この度、会員様対象の特別割引セールを行うことになりました。
当リストの新刊書籍をはじめ、勉誠社タイトル全品が対象となります。
この機会にぜひともご購入をご検討くださいますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

謹白

●ご注文について

- 弊社ウェブサイトよりご注文を承ります。

<https://bensei.jp>

各種クレジットカード、paypal(クレジットカード・デビットカード)でのご決済が可能です。
ぜひご利用くださいませ。

割引クーポンコード:b5070f60f6 (期限:~2025年6月30日)

こちらの10ケタの英数字を、必ずご入力ください!

未入力の場合、割引が適用されず、定価でのご請求となります。ご了承ください。

- メール添付、FAX、電話でもお受けしております。
ご氏名・ご住所・電話番号・公費/私費の区別・公費の場合は必要書類・宛名・日付の有無をお知らせください。
- 送料
6,000円(税込)未満の購入 → 送料 600円
6,000円(税込)以上の購入 → 送料無料
(※海外への配送に関しては、実費を頂戴します)

***ウェブサイト以外の方法によるご注文の際は、
歴史学研究会の会員であることをお知らせください。**

●ご連絡先

Mail info@bensei.jp

電話 03-5215-9021

FAX 03-5215-9025

【勉誠社】研究書 近刊・新刊書籍リスト

2024~2025年刊行分						
	書名	著者名	刊行年月	ISBN	割引価格	注文数
■事典・総記■						
	書物学 第27巻 近代製本の100年—明治・大正・昭和	編集部 編	2025/04	30727-3	1,800	
	書物学 第26巻 古筆見の仕事—真偽の先にあるもの	編集部 編	2025/02	30726-6	1,800	
	書物学 第25巻 古典籍の文献学—鶴見大学図書館の蒐書を巡る	編集部 編	2024/04	30725-9	1,800	
	世界の絵本・作家 総覧	O.L.V.・おおぶ文化交流の杜図書館 編	2024/06	30013-7	17,600	
■歴史・文化財・美術史・思想史■						
近刊	壮(チワン)族の歴史と文化	田畑博子 編	2025/07	33007-3	予価5,300	
近刊	木簡が語る古代の日本—地方木簡の世界(仮)	森公章 著	2025/07	32066-1	予価2,500	
近刊	和様と唐様の建築史学史	野村俊一 編著	2024/06	35004-0	予価7,000	
近刊	徳川美術館蔵「遊楽図屏風(相応寺屏風)」は語る—將軍家光の政治と「邸内遊楽図」の誕生	黒田日出男 著	2024/06	32068-5	3,300	
近刊	古文書研究 第99号	日本古文書学会 編	2024/06	32409-6	3,300	
近刊	日本の伝統建築を理解するための用語集	濱島正士 著	2024/06	35003-3	3,300	
近刊	高山寺本 明恵上人夢記記注	奥田 勲・平野多恵・前川健一・立木宏哉・小宮俊海・野呂 靖 編	2025/06	31022-8	7,000	
近刊	宋代士大夫官僚の基層社会と構造	伊原弘 著	2025/05	32049-4	10,600	
	増補改訂版 道教美術の可能性	齋藤龍一・鈴木健郎・土屋昌明 編	2025/05	37019-2	2,600	
	中国の女性演劇—越劇とジェンダー	中山文 著	2025/03	37018-5	6,600	
	新装版 武威武士を歩く—重忠・直実のふるさと 埼玉の史跡	北条氏研究会 編	2025/03	32062-3	2,400	
	武威武士を巡る—東京・神奈川の史跡と伝説	北条氏研究会 編	2025/03	32055-5	3,300	
	茶の湯の文化史	五味文彦 著	2025/03	32060-9	2,100	
	貸本問屋と貸本文化—娯楽的書籍の出版・流通・受容	松永瑠成 著	2025/03	32063-0	8,800	
	道教文化と日本—陰陽道・神道・修験道	日本道教学会 編	2025/03	31020-4	3,300	
	江戸庶民の読書と学び 増補改訂版	長友千代治 著	2025/02	32065-4	4,200	
	古文書研究 第98号	日本古文書学会 編	2025/01	32408-9	3,300	
	地方史誌から世界を読む—地方史誌から世界を読む	小二田章 編	2025/01	32064-7	7,000	
	帝鑑図と帝鑑図説—日本における勸戒画の受容	小助川元太・葉師寺君子・野田麻美・水野裕史 編	2024/11	37017-8	13,200	
	近世日本邪正論—江戸時代の秩序維持とキリシタン・隠れ/隠し念仏	大橋幸泰 著	2024/11	32058-6	8,800	
	看聞日記とその時代—好奇心旺盛な皇族・伏見宮貞成が語る中世社会	園部寿樹 著	2024/10	32059-3	3,700	
	荘園制再編と中世日本	小川弘和 著	2024/10	32057-9	7,000	
	源氏絵研究の最前線	稲本万里子 編著	2024/10	37016-1	11,400	
	織田信長文書の世界—永青文庫 珠玉の六〇通	公益財団法人永青文庫・熊本大学 永青文庫研究センター 編	2024/09	32054-8	2,500	
	増補改訂版 東インド会社とアジアの海賊	東洋文庫・斯波義信・平野健一郎・羽田正 監修/牧野元紀 編	2024/09	32056-2	2,800	
	醍醐寺文化財研究所研究紀要 第24号	醍醐寺文化財研究所 編	2024/09	31302-1	2,200	
	都市鎌倉の展開と鶴岡八幡宮の社人集団	佐藤博信 著	2024/09	32050-0	7,000	
	日本中世史論集	森茂暁 著	2024/09	32053-1	10,600	
	料理の日本史	五味文彦 著	2024/09	32045-6	2,100	
	ハナシ語りの民俗誌	川島秀一 著	2024/08	33006-6	2,800	
	開かれていた鎖国—入り船と出船	片桐一男 著	2024/08	32046-3	7,000	
	新装版 日本建築の歴史的評価とその保存	山岸常人 著	2024/08	32052-4	15,000	
	教育勅語—少年昭和天皇への進講録	杉浦重剛 著/所功 解説	2024/07	32051-7	1,100	
	広益体 妖怪普及史	伊藤慎吾・氷厘亭氷泉・式水下流・永島大輝・幕張本郷猛・御田鎌・毛利恵太 著	2024/07	32040-1	2,800	
	古文書研究 第97号	日本古文書学会 編	2024/06	32407-2	3,300	
	和紙を科学する 製紙技術・繊維分析・文化財修復	大川昭典 著	2024/06	35002-6	3,700	
	近世長崎渡来人文運史 言語接触と文化交流の諸相	若木太一 著	2024/06	32044-9	11,400	
	永平廣録 大全—『相山本 永平廣録』訓読・訳註・補注参考ならびに解題・関連資料集成	大谷哲夫 著	2024/06	31017-4	57,200	
	増補改訂版 室町時代の将軍家と天皇家	石原比伊呂 著	2024/05	32047-0	7,900	
	戦後出版文化史のなかのカストリ雑誌	石川巧 編集代表/カストリ雑誌編集委員会 編	2024/05	39039-8	2,500	
	増補改訂版 図像学入門—疑問符で読む日本美術	山本陽子 著	2024/04	37014-7	2,100	
	古文書修復講座—歴史資料の継承のために	神奈川大学日本常民文化研究所 監修/関口博巨 編	2024/03	32035-7	3,300	
	三井大坂両替店の顧客信用情報—享保一七年から明治二年まで	萬代悠 編	2024/03	32042-5	13,200	
	「見える」ものや「見えない」ものをあらわす—東アジアの思想・文物・藝術	外村中・稲本泰生 編	2024/03	37012-3	12,300	
	湖北省留日学生と明治日本	王鼎 著	2024/03	32043-2	6,200	
	器と信仰—東アジアの舍利荘嚴をめぐる美術史・考古学からのアプローチ	加島勝 編	2024/03	32041-8	13,200	
	彰義隊士の手紙—続『新彰義隊戦史』	大藏八郎 著	2024/03	32036-4	17,600	
	日本近世史入門—ようこそ研究の世界へ!【重版出来!】	上野大輔・清水光明・三ツ松誠・吉村雅美 編	2024/02	32034-0	3,300	

	コレクションと歴史意識 一十九世紀日本のメディア受容と「好古家」のまなざし	古畑侑亮 著	2024/02	32038-8	8,800	
	近世後期の海防と社会変容	清水詩織 著	2024/02	32037-1	8,800	
	朝鮮時代ソウル都市史	高東煥 著／野崎充彦・金子祐樹 訳	2024/02	32039-5	7,900	
	泰山諸神の信仰の展開—東岳大帝から碧霞元君へ	二ノ宮聡 著	2024/01	31018-1	7,000	
■ 古典文学・文学史 ■						
近刊	日本中世の宗教世界	阿部泰郎 監修／佐藤愛弓・牧野敦司 編	2025/05	31021-1	7,500	
	中国の名作をどう読むか—真の主題を見極める	下定雅弘 著	2025/05	39048-0	5,300	
	〈絵語り〉の日本中世	井上泰 著	2025/03	37013-0	7,900	
	和漢韻文文学の諸相	村上哲見 著／浅見洋二・松尾肇子 編	2025/03	39049-7	10,600	
	本歌取り表現論考	小山順子 著	2025/03	39050-3	9,700	
	水門 第三十二号	水門の会 編	2025/03	32463-8	3,100	
	孝謙天皇・称徳天皇御伝	米田達郎・米田雄介 編著	2025/01	32061-6	5,700	
	日本人の読書 新装版—古代・中世の学問を探る	佐藤道生 著	2025/01	39047-3	8,800	
	新装版 数と易の中国思想史—術数学とは何か	川原秀城 著	2024/12	81045-2	6,200	
	増補改訂版 明恵上人夢記 訳注	奥田勲・平野多恵・前川健一 編	2024/11	31019-8	7,000	
	清少納言伝—中宮定子讃仰と鎮魂の生涯	上原作和 著	2024/11	39046-6	4,800	
	鎌倉幕府の文学論は成立可能か!?—真名本『曾我物語』テキスト論	神田龍身 著	2024/10	39045-9	3,300	
	日本人にとって教養とはなにか—〈和〉〈漢〉〈洋〉の文化史	鈴木健一 著	2024/10	39044-2	3,100	
	日本古典文学と中国の古伝承—物語形成の比較文学的考察	三木雅博 著	2024/09	39042-8	8,800	
	平安朝詩文論集	後藤昭雄 著	2024/09	39043-5	10,600	
	新装版 正訳 紫式部日記 本文対照	中野幸一 訳	2024/05	39041-1	1,900	
	ラテンアメリカ文学の出版文化史 —作家・出版社・文芸雑誌と国際的文学ネットワークの形成	寺尾隆吉 編著	2024/05	39040-4	4,800	
	中国古典戯曲演劇論	岡晴夫 著	2024/04	37015-4	13,200	
	球陽外巻 遺老説伝	前村佳幸 校注	2024/04	32048-7	7,000	
	川端康成の曖昧な声—日本語の小説における文体と身体との交点	平井裕香 著	2024/03	39038-1	5,300	
	本 かたちと文化—古典籍・近代文献の見方・楽しみ方	国文学研究資料館 編	2024/02	30011-3	2,500	
	歴史叙述としての平家物語	塩山貴奈 著	2024/02	39037-4	7,000	
■ 日本語学・言語学 ■						
	日本人は漢文をどう読んだか—直読から訓読へ	湯沢質幸 著	2024/05	38006-1	2,800	
	論究日本近代語 第3集	日本近代語研究会 編	2024/04	38523-3	13,200	
	楷書の秘密—「字様」が発見されるまで	西原一幸 著	2024/02	38005-4	3,300	
■ 〈アジア遊学〉 ■						
	303 瓦から探る中世寺院	中世瓦研究会 編	2025/05	32549-9	2,600	
	302 アク・ベシム遺跡を掘る—よみがえるシルクロードの交易都市	山内和也・齊藤茂雄 編	2025/04	32548-2	2,800	
	301 描かれた法華経—本光寺蔵「法華経曼荼羅図」の時空	原口志津子 編	2025/03	32547-5	2,600	
	300 性なる仏教	大谷由香 編	2025/01	32546-8	2,500	
	299 近代日本の中国学—その光と影	朱琳・渡辺健哉 編著	2024/12	32545-1	3,100	
	298 無住道暁の拓く鎌倉時代—中世兼学僧の思想と空間	土屋有里子 編	2024/10	32544-4	2,500	
	297 廃墟の文化史	木下華子・山本聡美・渡邊裕美子 編	2024/10	32543-7	2,600	
	296 天文文化の視点—星を軸に文化を語る	松浦清・真貝寿明 編	2024/10	32542-0	3,100	
	295 蘇州版画—東アジア印刷芸術の革新と東西交流	青木隆幸・板倉聖哲・小林宏光 編	2024/09	32541-3	2,800	
	294 秀吉の天下統一—奥羽再仕置	江田郁夫 編	2024/06	32540-6	2,800	
	293 彷徨する宗教性と国民諸文化 —近代化する日独社会における神話・宗教の諸相	前田良三 編	2024/02	32539-0	2,600	
■ 図書館学・アーカイブ ■						
近刊	「メタデータ」のパースペクティブ	池内有為・木村麻衣子 責任編集	2025/06	30306-0	4,000	
近刊	図書館の日本史 増補改訂版 (ライブラリーぶっくす)	新藤透 著	2025/06	30018-2	3,300	
近刊	デジタルアーカイブ入門—つかう・つくる・支える	柳与志夫・渡邊英徳 責任編集	2025/06	30015-1	3,700	
	学校図書館概論	金沢みどり・雪嶋宏一 監修／雪嶋宏一・須永和之 編著	2025/05	30402-9	2,200	
	デジタルデータの長期保存・活用—その理論と実践	嘉村哲郎 責任編集	2025/03	30305-3	3,700	
	デジタル時代のコレクション論 (デジタルアーカイブ・ベーシックス)	中村寛・逢坂裕紀子 責任編集	2024/10	30304-6	3,100	
	図書館員をめざす人へ 増補改訂版	後藤敏行 著	2024/10	30014-4	2,100	
	アーカイブズ学入門	国文学研究資料館 編	2024/07	30012-0	2,500	
歴史関連書籍 (2023年)						
	物語る仏教絵画—童子・死・聖地	山本陽子 著	2023/10	37011-6	8,800	
	紙のレンズがひらく古典籍・絵画の世界	江南和幸・佐藤悟・横井孝 (新コディコロジー研究会) 編	2023/11	39036-7	4,000	
	国宝「三十帖冊子」 修理から見えてきたもの	総本山仁和寺 監修／宇都宮啓吾 編	2023/12	31012-9	10,600	
	増補改訂 江戸の異性装者たち—セクシュアルマイノリティの理解のために	長島淳子 著	2023/12	32033-3	2,800	
	本朝麗藻詳注	柳澤良一 著	2023/11	39030-5	24,600	
	東アジアの王宮・王都と仏教	堀裕・三上喜孝・吉田欽 編	2023/10	32032-6	10,600	
	続々 戦国武将逸話集—訳注『常山紀談』巻十六～二十五 (オンデマンド版)	湯浅常山 原著／大津雄一・田口寛 訳注	2023/10	95443-9	2,400	
	別冊 戦国武将逸話集—訳注『常山紀談』拾遺 巻一～四・附録 雨夜燈 (オンデマンド版)	湯浅常山 原著／大津雄一・田口寛 訳注	2023/10	95444-6	2,400	
	重要文化財 東福寺五百羅漢図 修理と研究	石川登志雄 編	2023/10	37010-9	19,400	

日本人の読書—古代・中世の学問を探る	佐藤道生 著	2023/09	39033-6	10,600
地方史誌から世界史へ—比較地方史誌学の射程	小二田章 編	2023/06	32028-9	7,000
霊峰の文化史—世界遺産・富士山と世界の山岳信仰	秋道智彌 著	2023/05	33005-9	2,800
江戸時代の貸本屋—庶民の読書熱、馬琴の創作を支えた書物流通の拠点	長友千代治 著	2023/05	39029-9	4,400
朝川図と蘭亭曲水図—イメージとテキストの交響	野田麻美・静岡県立美術館 編	2023/05	37009-3	8,400
モノと権威の東アジア交流—鑑真から清盛まで	シャルロット・フォン・ヴェアシュア 著	2023/04	32022-7	4,200
深草瑞光寺所蔵 元政上人資料集 —近世京洛寺院の学問とネットワーク	岡雅彦・落合博志・桑名法晃・長田和也・ 中前正志・那須陽一郎・原雅子・村木敬子 編	2023/03	31013-6	17,600
黄泉の国との契約書—東アジアの買地券	稲田奈津子・王海燕・榊佳子 編著	2023/03	32030-2	3,300
二一世紀の川劇—文化資源化の視点から	江玉 著	2023/03	37007-9	6,000
グレーゾーンと帝国—歴史修正主義を乗り越える生の営み	高綱博文・門間卓也・関智英 編	2023/03	32027-2	4,600
文と書—中国書字思想の探究	亀澤孝幸 著	2023/03	37008-6	7,000
古代日本の儀礼と音楽・芸能—一場の論理から奏楽の脈絡を読む	平間充子 著	2023/02	37006-2	8,800
明治・大正・昭和の時代劇メディアと時代考証	大石学・時代考証学会 編	2023/02	32025-8	2,800
日ソ戦争史の研究	日ソ戦争史研究会 編	2023/02	32026-5	10,600
鎌倉時代禅僧喫茶史料集成	館隆志 著	2023/02	31014-3	11,900
中世醍醐寺と真言密教（オンデマンド版）	藤井雅子 著	2023/01	83170-9	8,600
訂正新版 図説 書誌学—古典籍を学ぶ	慶應義塾大学附属研究所斯道文庫 編	2023/12	30010-6	3,100
見る・知る・考える 明治日本の産業革命遺産 —日本と世界をつなぐ世界遺産	岩下哲典・藤村泰夫 編	2022/12	32023-4	2,100
新羅政治社会史研究	武田幸男 著	2022/12	32024-1	10,600
もやもや日本近代美術—境界を揺るがす視覚イメージ	増野恵子・安松みゆき・河田明久・志邨匠 子・瀧井直子・奥間政作・石井香絵 編	2022/12	37004-8	4,200
生産・流通・消費の近世史（オンデマンド版）	渡辺尚志 編	2022/11	82153-3	7,000
室町の学問と知の継承—移行期における正統への志向（オンデマンド版）	田中尚子 著	2022/11	89156-7	8,800
むらりたちの生活モード—中世日本民衆生活史入門	蔵持重裕 著	2022/10	32018-0	3,300
公文書管理法時代の自治体と文書管理	宮間純一 編	2022/10	30008-3	5,300
ナチスとユダヤ企業—経済の脱ユダヤ化と水晶の夜	山本達夫 著	2022/09	33003-5	7,000
上杉本洛中洛外図屏風の研究—桑実寺縁起絵巻と共に	小谷量子 著	2022/09	32020-3	7,900
近世期百姓の土地所持意識と村落共同体	菅原一 著	2022/08	32019-7	7,000
伝達と変容の日本建築史—伝わるかたち／伝えるわざ	野村俊一 編	2022/07	35001-9	3,100
醍醐寺の仏像 第三巻 明王	総本山醍醐寺 監修／副島弘道 編	2022/07	37203-5	37,000
史学科の比較史—歴史学の制度化と近代日本	小澤実・佐藤雄基 編	2022/05	32017-3	6,200
中世東国日蓮宗寺院の地域的展開	佐藤博信 著	2022/05	32016-6	10,600
北条義時の生涯—鎌倉幕府の草創から確立へ	菊池紳一 監修／北条氏研究会 編	2022/04	32014-2	2,500
中世神道入門—カミとホトケの織りなす世界	伊藤聡・門屋温 監修／新井大祐・鈴木英 之・大東敬明・平沢卓也 編	2022/04	31006-8	3,300
宋版一切経（福州版）調査提要—本源寺蔵の調査を通して	福州版一切経調査研究会 編	2022/03	31010-5	5,700
奈良絵本『太平記』の世界 —永青文庫所蔵『絵入太平記』全挿絵影印ならびに研究	中根千絵・森田貴之 編	2022/03	39007-7	44,000
コレクションとアーカイブ—東アジア美術研究の可能性	板倉聖哲・塚本磨充 編	2022/01	37000-0	8,400
書物学 第24巻 100年くらい前の本づくり—近代日本の製本技術	編集部 編	2023/04	30723-5	1,800
書物学 第23巻 文化財をつなぐひと・もの・わざ —香雪美術館書画コレクションを支える装演修理の世界	編集部 編	2023/04	30724-2	1,600
書物学 第22巻 禅寺の学問—相国寺・両足院の知の体系	編集部 編	2023/02	30722-8	1,600
書物学 第21巻 活字—近代日本を支えた小さな巨人たち	編集部 編	2022/12	30721-1	1,600
書物学 第20巻 追憶のサムライ—中世武士のイメージとリアル	横浜市歴史博物館 編	2022/10	30720-4	1,600
アジア遊学292 中国学の近代的展開と日中交渉	陶徳民・吾妻重二・永田知之 編	2023/12	32538-3	3,100
アジア遊学291 五代十国—乱世のむこうの「治」	山根直生 編	2023/12	32537-6	2,800
アジア遊学290 女性の力から歴史をみる—柳田国男「妹の力」論の射程	永池健二 編	2023/11	32536-9	2,600
アジア遊学289 海外の日本中世史研究—「日本史」・自国史・外国史の交差	黄青龍・堀川康史 編	2023/11	32535-2	2,800
アジア遊学288 東アジアの「孝」の文化史 —前近代の人びとを支えた価値観を読み解く	雫雪艶・黒田彰 編	2023/10	32534-5	2,800
アジア遊学287 書物の時代の宗教—日本近世における神と仏の変遷	岸本覚・曾根原理 編	2023/09	32533-8	2,500
アジア遊学286 近代アジアの文学と翻訳—西洋受容・植民地・日本	波瀾剛・西槇偉・林信蔵・藤原まみ 編	2023/08	32532-1	2,600
アジア遊学285 渾沌と革新の明治文化 —文学・美術における新旧対立と連続性	井上泰至 編	2023/08	32531-4	2,500
アジア遊学284 近世日本のキリシタンと異文化交流	大橋幸泰 編	2023/07	32530-7	2,500
アジア遊学283 東アジアの後宮	伴瀬明美・稲田奈津子・榊佳子・保科季子 編	2023/06	32529-1	2,800
アジア遊学282 列島の中世地下文書—諏訪・四国山地・肥後	春田直紀 編	2023/05	32528-4	2,600
アジア遊学281 神道の近代—アクチュアリティを問う	伊藤聡・斎藤英喜 編	2023/03	32527-7	2,800
アジア遊学280 都市と宗教の東アジア史	西本昌弘 編	2023/03	32526-0	2,600
アジア遊学279 上海フランス租界への招待—日仏中三か国の文化交流	榎本泰子・森本頼子・藤野志織 編	2023/01	32525-3	2,800
アジア遊学278 呪術と学術の東アジア—陰陽道研究の継承と展望	陰陽道史研究会の会 編	2022/12	32524-6	2,600
アジア遊学276 村と民衆の戦国時代史—藤木久志の歴史学	稲葉継陽・清水克行 編	2022/10	32522-2	2,600
アジア遊学274 呉越国 10世紀東アジアに華開いた文化国家	瀧朝子 編	2022/10	32521-5	2,800
アジア遊学273 日本の中世貨幣と東アジア	中島圭一 編	2022/09	32519-2	2,800
アジア遊学272 対馬の渡来版経—護り伝える東アジアの至宝	横内裕人 編	2022/08	32518-5	2,800
アジア遊学270 日本中世の課税制度—段銭の成立と展開	志賀節子・三枝暁子 編	2022/05	32516-1	2,500

森公章 [著]

木簡が語る

古代の日本
(仮)

地方木簡の世界

木簡の出土遺跡は列島の津々浦々に及び、既存の文献史料では説明が難しい地域の様相を探究する手がかりとなる。

地方官衙遺跡出土木簡(地方木簡)を仔細に読み解き、8・9世紀を中心に、国郡制支配の基層となる郡・郡司の動向や「郡的世界」と称すべき在地社会の状況、その上位にある国府や国分寺、国家的な生産施設のあり方など、律令制下の地域の姿を探る。また「郡的世界」から国衙の支配へと展開する10・11世紀の様相も明らかにする。

木簡の基礎知識や地方木簡を用いた古代史研究の方法論をわかりやすく解説し、具体的な木簡の積読と文献史料から地方支配の様相の展開を立体的に描く、画期的入門書。

著者プロフィール

(もり・きみゆき) 東洋大学文学部教授。

専門は日本古代史、特に地方支配の歴史的發展、東アジアの国際関係、木簡学などを中心に研究している。主な著書に『地方木簡と郡家の機構』(同成社、二〇〇九年)、『地方豪族の世界―古代日本をつくった三〇人』(筑摩書房、二〇一三年)、『平安時代の国衙機構と地方政治』(吉川弘文館、二〇二四年)、『渡海僧がみた宋代中国―参天台五臺山記を読む』(八木書店、二〇二五年)などがある。

目次

プロローグ―地方官衙遺跡出土木簡の概要―
木簡とは何か/木簡の出土状況/出土遺跡と点数の概要/木簡の年代/世界の木簡事情/発掘と整理・保存/本書の構成

一 七世紀史と木簡

1 評の成立と支配構造◎評制の「発見」と課題/評制の成立過程と官制/評と五十戸/評と郡の相違/七世紀木簡の出土例/評務の遂行◎2 筑前国嶋郡戸籍の世界◎現存する最古の戸籍/元岡・桑原遺跡群出土の木簡/郡司の戸の様子/大宝二年戸籍をめぐる問題/国分松本遺跡出土木簡から考える

二 「郡的世界」の実像

1 郡務と木簡―兵庫豊岡市出石町袴狭遺跡群出土の木簡―◎遺跡の概要と木簡の留意点/狭義の文書木簡/記録簡と郡務の諸相/その他の郡務◎2 郡家出先機関の諸相(一)―陸奥国磐城郡の場合―◎里(郷)の位置づけ/郡家出先機関とは/陸奥国磐城郡の場合/大領と農業経営/文書行政の執行/大猿田遺跡出土の木簡◎3 郡家出先機関の諸相(二)―加賀国加賀郡の場合―◎加賀郡の様相/畝田・寺中遺跡出土の木簡/田領横江臣と畝田村/加茂遺跡と勝示札木簡の出土/田領文部氏と深見村◎4 地域支配と木簡◎青木遺跡の概要/Ⅰ区出土の木簡/Ⅳ区出土の木簡/春時祭田の世界

三 国レベルの機関と木簡

1 但馬国府跡関連遺跡出土の木簡◎但馬国府跡関連の遺跡/題籤軸と紙の文書/郡務と国務の連関◎2 観音寺遺跡と国府木簡の様相◎観音寺遺跡出土の木簡/国務関係の文書/阿波国の支配構造と国務の遂行/荷札木簡の到来・製作と国府◎3 国分寺と木簡◎国分寺の建立/但馬国分寺跡出土の木簡/安芸国分寺跡出土の木簡◎4 生産遺跡と木簡◎長登銅山跡と木簡の出土/文書木簡の検討/荷札木簡と物資の到来/銅付札の諸相/大仏造立の様相

四 国衙の支配への展開

1 農業経営と木簡◎畿内有力者の多角経営/労働力編成の諸相/出挙と農事◎2 「郡的世界」から国衙の支配◎地方官衙遺跡と木簡の行方/青谷横木遺跡の概要/十・十一世紀の木簡/徴税と勸農/国衙の出納所・収納所と木簡/中世的国衙機構への展望

エピソード―木簡の研究手法と鍛錬―
研究ツールの広がり/「目から赤外線が出る」とは
参考文献
あとがき

定価(予価)三、〇八〇円
本体一、八〇〇円

A5判並製カバー装

二三四頁前後+カラー口絵四頁

二〇二五年七月刊行予定

ISBN978-4-585-32066-1 C1021

書名	部数
木簡が語る古代の日本 地方木簡の世界 森公章(著)	部
定価(予価)3,080円(本体価格2,800円) A5判・並製カバー装・224頁前後+カラー口絵4頁 2025年7月刊行予定 ISBN978-4-585-32066-1 C1021	部
ご送付先ご住所(通信欄)	

勉誠社

※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠社宛にお申し出ください。
千代田区神田三崎町2-18-4 TEL.03-5215-9021 WEBSITE.http://bensei.jp/

FAX●03-5215-9025

米田達郎・米田雄介 [編]

孝謙天皇・称徳天皇御伝

こうけんてんのう・しょうとくてんのうぎよでん

聖武天皇と光明皇后を両親とし、史上6人目の女性天皇であった孝謙天皇(重祚して称徳天皇)。その治世下は必ずしも安定していたとは言えず、宇佐八幡宮事件、道鏡との関係などで取りざたされることが多いが、その一方で仏教に対する信仰が篤かったこと、男性のみならず女性も登用する人事を行ったことなど、特筆すべき事績が数多く残されている。『続日本紀』に記載されている記事を中心に、『扶桑略記』『諸寺略記』『東大寺要録』『寧楽遺文』『万葉集』など諸種の資料も博搜し、原文と書き下し文を付して編年体にて収録。研究の基盤を提供する。

「目次」

口絵

はじめに

凡例

孝謙天皇御伝(在位…天平勝宝元年七月二日〜天平宝字二年八月一日)

称徳天皇御伝(在位…天平宝字八年十月九日〜神護景雲四年八月四日)

孝謙天皇・称徳天皇略年譜

おわりに

「編者プロフィール」

米田達郎(よねだ・たつろう)

大阪工業大学工学部教授。専門は日本語学。主な著書・論文に、『飄流狂言詞章保教本を中心とした狂言詞章の日本語学的研究』(武蔵野書院、二〇一〇年)、『遊星から『惑星』へ——明治時代以降を中心に』(近代語研究)第29集、武蔵野書院、二〇二二年)、『天文用語「自転」の語史——江戸時代末〜明治時代を中心に』(『国語と国文学』6月号、二〇二四年)、『軌道』の語史——江戸時代末以降を中心に』(松浦清・真貝寿明編『天文文化の視点』星を軸に文化を語る)『アジア遊学』296、勉誠社、二〇二四年)などがある。

米田雄介(よねだ・ゆうすけ)

宮内庁書陵部編修課長・正倉院事務所長を歴任。公益財団法人古代学協会理事(文学博士)、県立広島女子大学・神戸女子大学名誉教授。専門は日本古代史、二〇二四年没。主な著書に、『すくわかる正倉院の美術』(東京美術、二〇〇二年)、『奇蹟の正倉院宝物——シルクロードの終着駅』(角川選書、二〇一〇年)、『光明皇后御傳——改訂増補版』(吉川弘文館、二〇二〇年)などがある。



定価 **7,150** 円
(本体 6,500 円)

A5判並製カバー装・290頁
ISBN 978-4-585-32061-6 C3021
2025年1月刊行

書名	部数
孝謙天皇・称徳天皇御伝 米田達郎・米田雄介 [編]	定価7,150円(本体6,500円) A5判並製カバー装・290頁 ISBN 978-4-585-32061-6 C3021 2025年1月刊行
ご送付先ご住所・氏名(通信欄)	

株式会社 勉誠社

※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠社宛にお申し出ください。
東京都千代田区神田三崎町2-18-4 TEL.03-5215-9021 <https://bensei.jp/>

FAX ● 03-5215-9025

山内和也・齊藤茂雄 [編]

アク・ベシム遺跡を掘る

よみがえるシルクロードの交易都市

アジア遊学 302

定価 3,520 円
(本体 3,200 円)

A5判並製カバー装
292頁(口絵4頁+本文288頁)
ISBN 978-4-585-32548-2 C1322
2025年4月刊行

東西文化の接点

中央アジアのキルギス共和国にあるアク・ベシム遺跡。

この遺跡は、5〜11世紀頃にスイヤブ(碎葉・素葉とも)と呼ばれた古代都市の遺跡である。

スイヤブはシルクロード交易の民ソグド人によって形成され、草原の遊牧勢力や中国王朝の唐、さらにはイスラームのカラハン朝が拠点とした

多文化融合の国際交易都市であった。都市はいかにして造られ、展開したのか。

東西の人びとはここでどのように暮らし、交流していたのか。最新の発掘調査と、

文献史学・美術史学・地理学・民俗学等、関係分野の知見から、都市スイヤブとその周辺世界の歴史を明らかにする。

「編者プロフィール」

山内和也 やまうち かずや

帝京大学教授・帝京大学文化財研究所長。

専門はシルクロードの考古学・文化史。

主な編著書に『シルクロードのゴイン1』『シルクロードのゴイン2』『碎葉史研究』(帝京大学シルクロード叢書、帝京大学出版会、二〇二五年)、論文

に『碎葉鎮城の大雲寺の位置と伽藍配置に関する試論』(碎葉鎮城の建設とアク・ベシム遺跡シヤフ

リスタン)の都市プランの変化』(帝京大学文化財研究所研究報告)23、二〇二五年)などがある。

齊藤茂雄 さいとう しげお

帝京大学文学部史学科講師。専門は古代遊牧民族

史。主な論文に『碎葉とアク・ベシム』(7世紀から

8世紀前半における天山南部の歴史展開(増訂

版)』(帝京大学文化財研究所研究報告)20、二〇

二一年)、『文献史料から見た碎葉城』(帝京大学

文化財研究所研究報告)21、二〇二二年)、『タラス

河畔の戦いと碎葉―唐の出兵目的をめぐって』

(『東洋学報』105、2、二〇二三年)などがある。

「目次」

カラー口絵

序文◎山内和也

総論 アク・ベシム遺跡(スイヤブ)とは◎山内和也・齊藤茂雄

I 歴史的背景

チューリ川流域東部の地形と遺跡の分布特性

——ジオアーケオロジの視点で◎佐藤剛

碎葉川のトルコ系遊牧民

——西突厥・十姓を中心に◎齊藤茂雄

玄奘が見たスイヤブ◎山内和也

II 発掘調査

ソグド人の街の発掘◎榎原功一

唐代碎葉鎮城(AKB-15)を掘る◎平野修

「コラム」アク・ベシム遺跡出土の瓦◎榎原功一

アク・ベシム遺跡とその周辺の仏教寺院◎岩井俊平

アク・ベシム遺跡発見の唐代花柄石敷とその性格◎向井佑介

家畜利用からみたアク・ベシム遺跡◎植月学

植物遺存体からわかる当時の暮らし◎赤司千恵・中山誠二

「コラム」空中写真でアク・ベシムを探る◎望月秀和

III 出土遺物・文化

チューリ川流域出土の初唐様式仏教彫塑◎森美智代

チューリ川流域出土漢文史料の書風分析

——碎葉鎮城に到達した文字◎榎井淳哉

「コラム」アク・ベシム遺跡出土の「杜懷寶碑」について◎齊藤茂雄

アク・ベシム遺跡出土の龜符と則天武后◎柿沼陽平

アク・ベシム遺跡出土のゴイン

——文献学・歴史学と分析科学の接点◎吉田豊・藤澤明

セミレチエのソグド人キリスト教徒が制作したとされる

銀器について◎影山悦子

物質文化資料からみた天山地域の遊牧民

——シヤムシの遺宝を中心に◎大谷育恵

キルギスにおける

伝統医療とシヤーマン◎藤崎竜一・高柳妙子・池田直人

「コラム」アク・ベシム遺跡を活用した観光開発◎榎原洋司

「コラム」ファイナダーから見たキルギス◎福田大輔

書名	部数
<p>アク・ベシム遺跡を掘る よみがえるシルクロードの交易都市[アジア遊学302] 山内和也・齊藤茂雄 [編]</p>	<p>定価 3,520 円(本体 3,200 円) A5判並製カバー装 292頁(口絵4頁+本文288頁) ISBN978-4-585-32548-2 C1322 2025年4月刊行</p>
<p>ご送付先(氏名・住所・電話番号)</p>	部

北条氏研究会 編

(ほうじょうしけんきゅうかい) 主要著書に「武蔵武士を歩く 重忠・直実のふるさと 埼玉の史跡」(勉誠出版二〇一五年)、「武蔵武士の諸相」(勉誠出版二〇一七年)、「鎌倉北条氏人名辞典」(菊池紳一監修、勉誠出版二〇一九年)、「北条氏発給文書の研究」(附 発給文書目録)(勉誠出版二〇一九年)、「北条義時の生涯——鎌倉幕府の草創から確立へ」(菊池紳一監修、勉誠出版二〇二二年)などがある。

武蔵武士を巡る

東京・神奈川の史跡と伝説

あわせて読みたい!

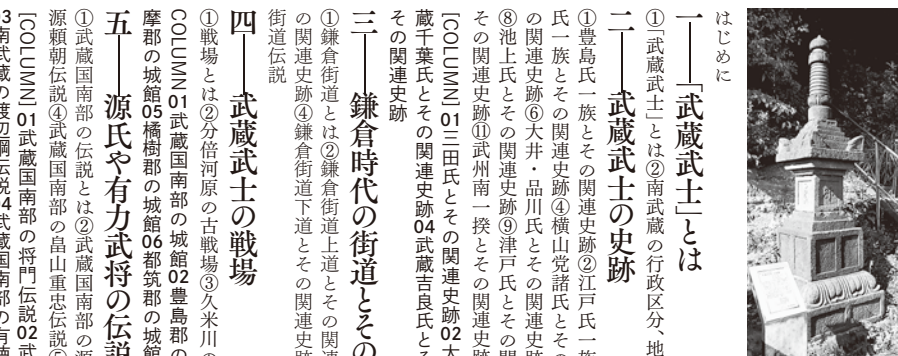
姉妹編

◎ 新装版

武蔵武士を歩く
重忠・直実のふるさと
埼玉の史跡



普濟寺の土塁



金沢区上行寺宝篋印塔

はじめに

一 「武蔵武士」とは
①武蔵武士とは②南武蔵の行政区分、地形・河川等

二 武蔵武士の史跡

①豊島氏一族とその関連史跡②江戸氏一族とその関連史跡③小山田氏一族とその関連史跡④横山党諸氏とその関連史跡⑤西党諸氏とその関連史跡⑥大井・品川氏とその関連史跡⑦村山氏とその関連史跡⑧池上氏とその関連史跡⑨津戸氏とその関連史跡⑩平子・石川氏とその関連史跡⑪武州南一揆とその関連史跡

COLUMN 01 三田氏とその関連史跡 02 大石氏とその関連史跡 03 武蔵千葉氏とその関連史跡 04 武蔵吉良氏とその関連史跡 05 太田道灌とその関連史跡

三 鎌倉時代の街道とその関連史跡

①鎌倉街道とは②鎌倉街道と上道とその関連史跡③鎌倉街道中道とその関連史跡④鎌倉街道下道とその関連史跡⑤鎌倉街道の枝道⑥鎌倉街道伝説

四 武蔵武士の戦場

①戦場とは②分倍河原の古戦場③久米川の古戦場④江古田の古戦場 COLUMN 01 武蔵国南部の城館 02 豊島郡の城館 03 荏原郡の城館 04 多摩郡の城館 05 橋樹郡の城館 06 都筑郡の城館 07 久良岐郡の城館

五 源氏や有力武将の伝説

①武蔵国南部の伝説とは②武蔵国南部の源義家伝説③武蔵国南部の源頼朝伝説④武蔵国南部の畠山重忠伝説⑤武蔵国南部の源新田伝説 COLUMN 01 武蔵国南部の将門伝説 02 武蔵国南部の藤原秀郷伝説 03 南武蔵の渡辺綱伝説 04 武蔵国南部の有徳人(長者)伝説

六 板碑・五輪塔等石造物のある史跡

①武蔵国南部の中世の石造物②東京都(旧武蔵国)の石造物③神奈川県(旧武蔵国)の石造物

七 その他、地域の史跡

①武蔵国府とその周辺史跡②久良岐郡の中世史跡③武蔵国鶴見寺尾郷絵図と史跡を辿る④多摩川沿岸のハケ地形と史跡——野川を例として⑤高幡不動⑥高尾山薬王院⑦浅草寺

COLUMN 01 小野神社 02 百草八幡神社とその関連史跡 03 鶴見神社(杉山神社)

付録——①武蔵国南部の武蔵武士分布②東京都域と神奈川県の武蔵武士一覧③武蔵武士の年表④参考文献一覧

おわりに・索引——人名・氏族名等索引◎史跡一覧◎仏像一覧

定価4,180円・本体3,800円

A5判並製カバー装・496頁

2024年11月刊行

ISBN978-4-585-32055-5 C0021

定価4,180円・本体3,800円

A5判並製カバー装・496頁

2024年11月刊行

ISBN978-4-585-32055-5 C0021

書名

武蔵武士を巡る
東京・神奈川の史跡と伝説

北条氏研究会(編)

冊数

冊

ご送付先ご住所(通信欄)

新装版

武蔵武士を歩くと歩く

北条氏研究会 [編]

主要著書に、「武蔵武士の諸相」(勉誠出版、二〇一七年)、「鎌倉北条氏人名辞典」(菊池紳一監修、勉誠出版、二〇一九年)、「北条氏発給文書の研究」(附「発給文書目録」)(勉誠出版、二〇一九年)、「北条義時の生涯」(鎌倉幕府の草創から確立へ)(菊池紳一監修、勉誠出版、二〇二二年)などがある。

深谷市◎嘉元二年銘板碑



- 執筆者
池田悦雄 秋山哲雄
磯川いづみ 甲斐玄洋
磯野治司 遠山久也
北爪寛之 永井 晋
川島孝一 三枝清一
川島優美子
菊池紳一
下山 忍
塚本洋司
中西望介
山野龍太郎
山野井功夫

武蔵の「中世」を訪ねてみよう

鎌倉幕府成立の要として中世史の中枢に足跡を残した「武蔵武士」。これらが武蔵の各地に残した様々な史跡を膨大な写真・図版資料とともに詳細に解説。史跡や地名から歴史を読み取るためのコツや、史跡めぐりのルート作成方法を指南。

武蔵武士の息づかいを体感するためのガイドブック



川島町◎広徳寺大御堂

ほぼ同時刊行!!
待望の姉妹編
武蔵武士を巡る
東京・神奈川の
史跡と伝説

定価 2,970円・本体2,700円
A5判並製カバー装・400頁
2025年1月刊行
ISBN978-4-585-32062-3 C0021

※本書は『武蔵武士を歩く』(2015年1月刊行)の新装版です。

重忠・直実のふるさと
埼玉の史跡

本書の特長

- ◎埼玉県下に現存し、武蔵武士の活躍した中世期の様相を伝える史跡を、城館・神社・寺社・石造物、古道や渡し場など、二〇〇〇点超の図版とともに紹介。
- ◎巻頭には武蔵武士を知るための総説と、詳細な「史跡の見方」を収録。
- ◎史跡へのアプローチを助けるため、所在番地も記載した。史跡めぐりの助けとなる「見学コース」作成の手引きと、テーマに沿ったモデルコースも紹介。

収録史跡一覧／人名索引

武蔵武士を歩くために

武蔵武士とは／地名の読み方／城館・城郭の見方／神社の見方／寺院の見方／仏像の見方／石造物(板碑・五輪塔・宝篋印塔)の見方／梵鐘等の見方

武蔵武士の史跡

賀美郡の史跡／児玉郡の史跡／秩父郡の史跡／那珂郡の史跡／榛沢郡の史跡／幡羅郡の史跡／大里郡の史跡／男衾郡の史跡／比企郡の史跡／吉見郡の史跡／埼玉郡の史跡／足立郡の史跡／入間郡の史跡／高麗郡の史跡／新座郡の史跡

人名・地名解説

見学コース

史跡見学コースを作るために／大蔵合戦の故地をめぐる／大型板碑の残る鎌倉街道を歩く／武蔵武士の館跡を訪ねる／畠山重忠主従のゆかりの地をまわる／比企・入間郡の石造物と出会う／武蔵武士の阿弥陀信仰に触れる

書名	冊数
新装版 武蔵武士を歩く —重忠・直実のふるさと 埼玉の史跡 北条氏研究会〈編〉	冊
定価 2,970円・本体2,700円 A5判並製カバー装・400頁 2025年1月刊行 ISBN978-4-585-32062-3 C0021	
ご送付先ご住所 (通信欄)	

五味文彦 著

(一)みふみひ(二)東京大学・放送大学名誉教授、足利学校座主。専門は日本史。著書に『院政期社会の研究』(山川出版社、一九八四年)、『文学で読む日本の歴史』(全五巻) (山川出版社、二〇二〇年)、『武士論』(講談社、二〇二二年)、『料理の日本史』(勉誠社、二〇二四年)などがある。

茶の湯の文化史

ちやのゆのぶんかし

定価 2,640 円(本体 2,400 円)

四六判並製・272頁
ISBN978-4-585-32060-9 C0021
2025年3月刊行

BOOK CELLAR

ブックセラーでもご注文いただけます

鎌倉時代に行われた闘茶、室町期の会所や草庵での茶の楽しみ、信長や秀吉が愛した茶道具、戦国期に千利休が大成した「わび茶」の継承……。中国から伝来した茶は、時代により、様々なかたちで人々に親しまれてきた。公家、武士、僧侶、そして庶民、それぞれの身分の人々はどうのように茶を楽しんだのか。茶の作法はいかにして生まれたのか？

日本人の心に深く寄り添う茶の湯の歴史を、多数の図版とともに楽しく解説！



もくじ

口絵
はじめに

一 茶の文化

中国の茶／茶の伝来／茶の利用／『喫茶養生記』と明恵／鎌倉中後期の茶／茶勝負と茶寄合／会所の飾り闘茶と『喫茶往来』の描く会所と茶の魅力

二 茶の湯

禅院の茶と服／銭茶売り／会所の茶と順茶局茶／数寄茶と料理の茶／茶呑みの儀礼と楽しみ／書院の茶と草庵の茶／禁中の茶と珠光の茶／珠光の弟子と茶勝負の実験と／佗数寄と『異制庭訓往来』／十四屋宗伍と松屋会記／武野紹鷗と四畳半茶席／円山梅雪と松永久秀／堺の茶人

三 茶の湯の到達点

織田信長の名物狩り／信長の茶湯政道／堺衆の茶の湯／千利休の茶／島津の茶／秀吉の茶／北野の大茶会／利休と秀吉／名護屋城での茶会と秀吉の師／山上宗二記と茶元の図／利休の弟子／古田織部の茶／茶の焼物

四 茶の湯の楽しみ

『醒睡笑』の語る茶の笑話／京の町人と後水尾院の茶／宗旦の茶／片桐石州と江戸の茶／織部の弟子、小堀遠州、金森宗和／上田宗箇の和風堂／武家の茶／民間の茶／石州と武家茶道／語藩の茶道役／常修院宮と後西院の茶の湯／常子内親王と近衛家熙、都城島津家

五 茶の湯の世界の広がり

玉舟宗潘と茶の湯関係者／宗旦の子の三子家／茶書刊行と千家女性への勧めの『刀自快』と茶の湯批判／千家の家元と七事式／稽古と箱書／前茶／三天茶の歴史／前茶道／大名茶道の広がり／松平不昧の茶の湯『茶器名物図彙』と『年々留』射和文庫

六 近代の茶の湯

井伊直弼の茶の湯／玄々齋の活動／文明開化と茶の湯／数寄者の茶／女子教育と茶道人口の増大／数寄者の茶から知識人の茶へ／海外進出と大茶会／戦後改革と家元制度

おわりに
参考文献

書名

茶の湯の文化史

五味文彦(著)

冊数

定価 2,640 円(本体 2,400 円)

四六判並製・272頁
2025年3月刊行
ISBN978-4-585-32060-9 C0021

冊

ご送付先ご住所(通信欄)

株式会社勉誠社

※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠社宛にお申し出ください。
東京都千代田区神田三崎町2-18-4 TEL.03-5215-9021 <https://bensei.jp/>

FAX ● 03-5215-9025

織田信長 文書の世界

永青文庫 珠玉の六〇通

新たに発見された信長文書を初収録！
六〇通の信長の手紙に加え、秀吉・藤孝などの文書も含めた
全七六点をフルカラー掲載。
詳細な解説・翻刻・現代語訳なども付した決定版！
最新の知見を反映した論説、
永青文庫の工芸品紹介なども多数掲載。
歴史ファン必読の一冊。



- I ● 永青文庫細川家の新発見文書と自筆文書
- II ● 「室町幕府」をどうする？——信長・藤孝・義昭
- III ● 一揆との戦と「長篠合戦」——信長の戦争と諸將
- IV ● 信長と藤孝、そして村重——奉仕と謀反のあいだ
- V ● 光秀の台頭から「本能寺の変」へ——信長・光秀・藤孝
- VI ● 未完の「天下」を引き継ぐ者——秀吉と細川家
- VII ● 肥後細川家と信長文書——熊本への収集

室町幕府の滅亡、一向一揆との死闘、長篠合戦、本能寺の変など、
激動の時代を生きた信長。
信長から光秀、そして秀吉へと激しく移りゆく権力に、
ときには一日刻みて対応した細川藤孝（幽斎）・忠興・康之。
そしてついに「天下」づくりを支える地位を得た秀吉——
彼らは何を考え、どのように行動し、どう生きたのか。
永青文庫が所蔵する六〇通の信長文書および関連文書から、
一瞬一瞬の対応が迫られる波乱の時代の息遣いを読み解く。

「
新たに発見された
信長文書を初収録！
」

（細川）藤孝の果たした歴史的役割が改めてクローズアップされる貴重な一次史料

稲葉継陽（熊本大学永青文庫研究センター教授）

今秋（10月）
永青文庫で
公開予定
於東京都文京区



【執筆者】

- 稲葉継陽 ● 山田貴司 ● 伊藤千尋 ● 増田孝
- 水野嶺 ● 金子拓 ● 天野忠幸 ● 村井祐樹
- 林千寿 ● 福島克彦 ● 林晃弘 ● 有木芳隆
- 高島晶彦

定価 3,080円・本体2,800円
B5判並製カバー装・272頁（フルカラー）
2024年9月刊行
ISBN978-4-585-32054-8 C1021

公益財団法人永青文庫／熊本大学 永青文庫研究センター 〈編〉

書名	冊数
織田信長文書の世界 ——永青文庫 珠玉の六〇通 公益財団法人永青文庫 熊本大学 永青文庫研究センター 〈編〉	冊
ご送付先ご住所（通信欄）	

株式会社 勉誠社

※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠社宛にお申し出ください。
東京都千代田区神田三崎町2-18-4 TEL.03-5215-9021 <https://bensei.jp/>

FAX ● 03-5215-9025

日本中世史論集

鎌倉時代から南北朝期、

さらには室町時代にいたる

日本中世の政治と文化の諸相を、

新史料を含む多様な史料を駆使し考究。

中世史を考えるうえで、の基盤を提示する。

長年、日本中世史研究を領導してきた

著者による待望の二冊！

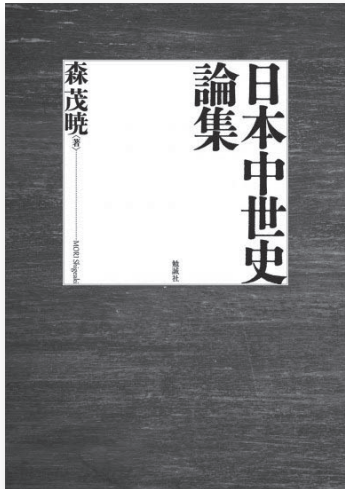
森茂暁 [著]

(もり・しげあき)

福岡大学名誉教授。

専門は中世日本の政治と文化。

主な著書に『建武政権 後醍醐天皇の時代』(教育社歴史新書、一九八〇年)、『講談社学術文庫(改訂版)、二〇二二年)、『南北朝期公武関係史の研究』(文献出版、一九八四年)、『思文閣出版(増訂版)、二〇〇八年)、『足利尊氏(角川選書、二〇一七年)、『足利義満(角川選書、二〇二三年)などがある。

定価 13,200円
(本体 12,000円)A5判上製カバー装・688頁
ISBN 978-4-585-32053-1 C3021
2024年9月刊行

[目次]

序言

第一部 鎌倉時代・建武新政期

第一章 文保の和談の経緯とその政治的背景

第二章 鎌倉末期・建武新政期の長門国分寺

第三章 建武政権下の長門国の知行国主について

第四章 建武政権と九州

付一 山科家関係文書の紹介
付二 「内蔵寮領等目録」・「御厨子所関係文書」

第二部 南北朝時代

第一章 法勝寺領美濃国船木荘只越郷をめぐる惣庶の対立と南北朝の争乱

第二章 足利尊氏発給文書の研究

第三章 室町將軍発給文書体系の成立

第四章 足利直義発給文書の研究

第五章 中院通冬とその時代

第六章 南北朝動乱に翻弄された一北朝公家

第七章 周防国分寺の中世文書―鎌倉時代・南北朝時代―

第八章 南北朝期の近衛家門について

第三部 室町時代

第一章 室町幕府管領斯波義将についての二、三の論点

第二章 斯波義将の特異な文書―前管領が出した御判御教書―

第三章 赤松満政小考―足利義教政権の一特質―

第四章 室町前期の国家祈禱と幕府財政

第五章 伊勢貞国・赤松満政のかかわり

第六章 黒衣宰相がリードした室町政治―『満濟准后日記』―

第四部 周防大内氏の世界

第一章 周防大内氏の渡来伝承について

第二章 「鹿苑院西園下向記」を素材にして―

第三章 大内氏の興隆と祖先神話(講演録)

第四章 大内政弘と賀茂在宗との関係を中心に―

第五章 周防国水上山興隆寺修二月会についての一考察

第六章 修二月会頭役差定状を素材として―

第七章 大内政弘の精神世界

第八章 大内氏にかかる山口県外史料二題

付一

付二

あとがき

初出一覧

索引(人名/地名・荘園名/寺社名/史料名・書名/事項)

書名	部数
日本中世史論集	部
森茂暁 [著]	部
定価 13,200円(本体12,000円)	
A5判上製カバー装・688頁	
ISBN 978-4-585-32053-1 C3021	
2024年9月刊行	
ご送付先ご住所・氏名(通信欄)	

株式会社勉誠社

※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠社宛にお申し出ください。
東京都千代田区神田三崎町2-18-4 TEL.03-5215-9021 <https://bensei.jp/>

FAX●03-5215-9025

書物學

26



定価2,200円・本体2,000円
B5判並製・120頁
2025年2月刊行
ISBN978-4-585-30726-6 C1000
[書物学・第26巻]

古筆見の仕事

Kohitsumi No Shigoto

真偽の先にあるもの



■特集

序論・身近にある鑑定文化……佐々木孝浩
文化としての古筆鑑定……佐々木孝浩
日本書道史における「鑑定」……金子馨
烏丸光広の鑑定実績……久保木秀夫
古筆家歴代について……中村健太郎

Column 古筆鑑定書の形式と種類……中村健太郎
古筆鑑定文書の「琴山」印について……中村健太郎
古筆本家歴代略歴および極印一覧……中村健太郎
大應寺と古筆了佐……本多潤子
始まりは愛……ウオーリー朗子
本文の仮名字母を用いた
『源氏物語』写本の分類と伝称筆者の関係……齊藤鉄也

■連載

松朋堂新収古書解題・第五回……佐藤道生
西洋古書の遠近法・VOL.13……雪嶋宏一

この筆跡は誰のものなのか。
ホンモノなのかニセモノなのか。
由緒正しきモノなのか。

モノにまつわる世界で常に問われ続ける永遠のテーマである。
この「鑑定」という文化を、江戸時代の始まりより
明治、大正、昭和に至るまで支えてきた人々がいた——古筆見である。

その痕跡は「極付き」「折紙付き」という言葉や、
博物館などでよく目にする「伝○○」という表現に残されており、
今なお我々のモノの見方にも大きな影響を与え続けている。
「古筆見」とその中心であった「古筆家」はいかに成立・展開していったのか。
鑑定書や鑑定印にはどのような種類があるのか。
彼らの鑑定を現代の我々はどうのように考えるべきなのか。

古筆家伝来の内部資料、菩提寺に残された資料や文物、
さらには長期にわたる研究・蒐集の成果により、
これまで纏まった記述のなされることなかった
古筆見・古筆家の営為や文化史的意義を多角的に明らかにする。

<p>書名</p> <p>古筆見の仕事 真偽の先にあるもの</p> <p>編集部(編)</p>	<p>冊数</p> <p>冊</p>
<p>ご送付先ご住所(通信欄)</p>	

神奈川大学日本常民文化研究所(監修)・関口博巨(編)

古文書修復講座

歴史資料の継承のために

歴史資料を残し、伝えていくために――

日本においては、歴史を伝える資料、

特に古文書・古記録などの紙を利用した史資料が多く残されている。

これらは博物館や資料館、図書館などで管理されているもののみではなく、家屋や倉庫などの奥底、さらには襖の下張りや表紙の裏などに残され、破損・水損・虫害など、さまざまなリスクに囲まれている。

傷んでしまった史資料は、どのように対処し、管理していくべきなのか。

長年にわたり、古文書の調査のみならず保存・管理の方法論を検討し、史資料の取り扱いかたのレクチャーを行ってきた

神奈川大学常民文化研究所のノウハウ・知見を、

豊富なカラー写真とともに余すところなく紹介する必備の一冊。

博物館・資料館・図書館等、 古文書を取り扱う方々に必携の書

【監修者プロフィール】

神奈川大学日本常民文化研究所

日本民衆の生活・文化・歴史を多様な領域において調査・研究する、神奈川大学附置の学際的研究機関。

1921年に渋沢栄一の孫である渋沢敬三が創設した“アチックミュージアムソサエティ”を前身として、日本各地の生活文化、中でも民具や水産史の研究を中心に活動を進め、戦前・戦後の日本常民文化研究所を経て神奈川大学に招致され、2021年で創立100周年をむかえた。

2023年には、神奈川大学日本常民文化研究所は博物館相当施設に指定され、常民文化ミュージアムがリニューアルオープンしている
(<http://jominken.kanagawa-u.ac.jp/about/>)。

【編者プロフィール】

関口博巨(せきぐち・ひろお)

1960年生まれ。神奈川大学国際日本学部准教授。専門は日本近世史。

著書に『近世村落の領域と身分』(吉川弘文館、2021年)、『古文書を学ぶ』(御茶の水書房、2021年)、論文に『水軍の記憶』を編む――二神種章の歴史叙述』(『歴史と民俗』35、平凡社、2019年)などがある。

【もくじ】

はじめに…関口博巨

1.古文書修復実習開催の背景

古文書返却の旅

常民研による古文書修復のはじまり

恒例化した古文書修復実習

2.本書の構成

古文書修復(1):記録・解体(実習1)…白水智

古文書修復(2):修理―古文書の裏打ちと繕い(実習2)…山口悟史

古文書修復(3):復原(実習3)…関口博巨

下張り文書の剥離と洗浄(実習4)…平田茉莉子・中村 慧

整理(実習5)…白水 智

column

古文書を食べる虫…山口悟史

近現代史料の整理をはじめ前の手当て…平田茉莉子

水損古文書を救う―乾燥・洗浄処置と開披方法…山口悟史

古文書修理の接着剤…山口悟史

モノとしての古文書と民具―複合資料論の試み…関口博巨

民具と古文書の間…石野律子

偽作された古文書…日座久美子

表具師・経師と修復…平田茉莉子

渋沢敬三が求めた「常民古文書」…窪田涼子

時代をまたぐ史料をどのように整理するか…白水 智

神奈川大学常民文化研究所について

あとがき…関口博巨

執筆者紹介

カラー図版
約350点
掲載!

書名	部数
古文書修復講座 歴史資料の継承のために 神奈川大学日本常民文化研究所(監修)・関口博巨(編者)	部
ご送付先ご住所・氏名(通信欄)	

定価 4,180 円(本体価格 3,800 円)

B5判並製カバー装・フルカラー 192頁
ISBN978-4-585-32035-7 C1021
2024年3月刊行

定価 4,180 円(本体価格 3,800 円)

B5判・並製カバー装・フルカラー192頁
ISBN978-4-585-32035-7 C1021
2024年3月刊行



瓦

から探る

中世寺院

中世瓦研究会
編

瓦の研究で何がわかるのか？

考古学における瓦研究の歴史は古く、日本への仏教伝来にもなつて

飛鳥時代に建立された寺院で使用された瓦の研究に始まり、

奈良時代の諸国分寺や官衙の造営に使われた

瓦などについての豊富な研究が蓄積されている。

いわゆる歴史考古学において、

瓦研究は土器の研究とならんで

主要な研究分野として発展してきた。

源頼朝が鎌倉時代初期に政権を築いた

鎌倉の地に建立した永福寺の瓦を中心に、

その形式・文様などから、生産・流通までを検証。

考古学、美術史、文献史学など

関連諸学からアプローチを集結し、

瓦から見える「モノ」と「ヒト」の関わりを解明する。

定価 3,300円・本体3,000円
A5判・並製カバー装・272頁
2025年5月刊行
ISBN978-4-585-32549-9 C1321
【アジア遊学No.303】

「序文」中世寺院の造営と信仰をめぐる諸研究・小林康幸
「総説」中世瓦を読み解く——永福寺式軒瓦を事例として——小林康幸

第1部 永福寺式軒瓦の成立と展開
院政期尾張における瓦生産——八事裏山窯を中心に——尾野善裕
相模の尾張産瓦について 高橋 香

伊豆・願成就院跡と周辺遺跡の中世瓦——北条氏本拠地の様相——池谷初恵
武蔵の永福寺式瓦——軒瓦と平・丸瓦などから——石川安司

常陸の永福寺式軒瓦とその周辺——比毛君男

第2部 武士の寺院造営と信仰
三浦氏関連中世寺院の考古学的考察・大澤伸啓
武士本拠の仏像造立——威信財としての仏像とその機能——渡邊浩貴

武士の経塚造営・水口由紀子
横須賀・満願寺の仏像と三浦一族——寺院創建と本尊の造立——大澤慶子
中世武蔵武士と墳墓・落合義明

【コラム】学芸員と特別展
——神奈川県立歴史博物館特別展「永福寺と鎌倉御家人」顛末記——渡邊浩貴

第3部 深化する中世瓦の研究
源姓足利氏の造寺活動と瓦・足立佳代

満願寺遺跡と薬王寺遺跡
——三浦一族ゆかりの寺院と瓦——中三川昇

【コラム】永福寺——瓦の生産地はどこか——菊川泉
屋根瓦からみえる永福寺の姿・芦田淳一

【コラム】土器研究からみた中世瓦・押木弘己

中三川昇さんの逝去を悼む・小林康幸

あとがき・小林康幸

書名	冊数
<p>瓦から探る中世寺院 中世瓦研究会〈編〉</p>	<p>定価 3,300円・本体3,000円 A5判・並製カバー装・272頁 2025年5月刊行 ISBN978-4-585-32549-9 C1321 【アジア遊学No.303】</p>
<p>ご送付先ご住所（通信欄）</p>	

高山寺本

こうさんじほん
みょうえしようにん
ゆめのき やくちゆう

明恵上人 夢記訳注

奥田 勲
平野 多恵
前川 健一
立木 宏哉
小宮 俊海
野呂 靖

編

中世日本の思想や文化に大きな影響を与えた明恵上人。

その明恵が自らの見た夢を詳細に書き記した「夢記（ゆめのき）」は、明恵その人の思想や心性を示すのみならず、日本人と夢や精神世界との関係を解き明かすための重要な基礎資料である。

明恵が開いた梅尾・高山寺に伝わる明恵上人夢記の全編に翻刻・訓読・現代語訳・語注・考察を付した決定版。

既刊の『増補改訂版 明恵上人夢記訳注』と併せ、明恵による「夢記」の全体像を把握する画期的成果。

本書の特長

- 高山寺に所蔵される明恵上人夢記の影印（第十篇 手鏡）・解題・目録及び夢記一点ごとの翻刻・訓読・現代語訳・考察を収載した、明恵上人夢記研究における画期的な基礎文献である。
- 夢・思想・宗教・歴史などの分析・検討に広く有用な資料を提供し、文学・思想・宗教・歴史・心理学・精神医学・日本語学・古筆学・美術等、さまざまな研究分野に裨益する必携の一書。
- 「I 影印」ではこれまで全編未紹介であった第十篇、手鏡を影印掲載した。
- 「II 解題」では、「明恵上人夢記」の全体像と研究史を概観。また、高山寺蔵の夢記について、詳細な解説を加えた。
- 「III 訳注」では、上記目録掲載の各夢記について、「翻刻」「訓読」「現代語訳」「語注」「考察」を掲載した。
- 「IV 資料」には、「華嚴仏光三昧観冥感伝訓読」「夢記年表」「固有有名詞解説」「夢記関連地図」「参考文献一覧」「人名一覧」「事項索引」を収め、研究のツールとして有用なものを収載した。

明恵上人とは…

一一七三～一二三二。鎌倉時代の華嚴宗の僧。三十四歳以後鳥羽上皇の院宣により、梅尾を賜り、ここに高山寺が開創される。著書に、『摧邪論』など多数。

目次

【口絵】
（毘盧遮那の夢／手鏡）

緒言：奥田勲
凡例

I 影印
（第十篇、手鏡）

II 解題
明恵「夢記」概観
高山寺本解題

III 訳注

凡例
高山寺本（訳注）
聖教等の夢記（目録・訳注）

IV 資料

華嚴仏光三昧観冥感伝訓読
夢記年表
固有有名詞解説
夢記関連地図
参考文献一覧
人名一覧
事項索引

あとがき
謝辞
編著者・執筆者紹介

おくだ、いさお：聖心女子大学名誉教授。
ひらの、たえ：成蹊大学文学部准教授。
まえがわ、けんいち：公益財団法人東洋哲学研究所研究員。
たちき、ひろや：聖心女子大学ほか非常勤講師。
こみや、しゅんかい：大正大学非常勤講師／智山伝法院非常勤講師。
のろ、せい：龍谷大学心理学部准教授。

定価 8,800円（本体価格8,000円）

A5判上製カバー装580頁（カラー口絵2頁）
2025年8月刊行予定
ISBN978-4-585-31022-8 C3015

定価 8,800円（本体価格8,000円）

A5判上製カバー装・580頁（カラー口絵2頁）
2025年8月刊行予定
ISBN978-4-585-31022-8 C3015

書名	冊数
高山寺本 明恵上人夢記訳注 奥田 勲・平野多恵・前川健一・小宮俊海・立木宏哉・野呂 靖 [編]	冊
ご送付先ご住所（通信欄）	

描かれた法華経

原口志津子「編」

アジア遊学 301

定価 3,300円
(本体 3,000円)A5判並製カバー装
232頁(口絵8頁+本文224頁)
ISBN 978-4-585-32547-5 C1315
2025年3月刊行

富山本法寺に伝わる重要文化財「法華経曼荼羅図」は二十二幅一具という規模を有する。その内容は法華経の経文や注釈書に基づく場面ばかりではなく、説経や説話に基づく図像も含み、十四世紀の心性や文化を今に伝える貴重資料である。豊富な画像情報には、建築や仏像・仏画を制作する場面や法要、舞楽のほか、牛耕、田植え、稲刈り、製油、製薬、鍼灸、風呂・湯屋、鉦脈ダウジング、井戸掘り、商売、物見遊山、草履作りなどの風俗描写が含まれており、「二遍聖絵」に匹敵する鎌倉時代末期の絵画資料として、近年諸分野からの注目を集めている。本書では、美術史研究のみならず、国文学や歴史学の視点より本法寺本を多角的に考究。その所蔵流転を明らかにし、鎌倉時代末期の律僧の活動として、本法寺本を位置づけ、さらには本法寺本に描かれた説話内容を通じて学僧の世界と在俗者の交流実態を明らかにする。

目次

刊行に寄せて◎原口志津子

I 本法寺本の伝来・史的位置づけ

明応の政変と本法寺蔵「法華経曼荼羅図」◎松山充宏
足利義材と五山派禪宗寺院の人事◎高鳥 廉

II 本法寺本の美術史的位置づけ

本法寺蔵「法華経曼荼羅図」に見る浄土のイメージ——宝樹を中心に◎鷹野佳世子
本法寺蔵「法華経曼荼羅図」と版本細字法華経——構図と図様の比較から◎小林知美
中世律宗絵画としての本法寺蔵「法華経曼荼羅図」◎瀬谷 愛
「二遍聖絵」にみられる法華経経意絵的モチーフについて◎五月女晴恵
本法寺蔵「法華経曼荼羅図」に見る龍女と金翅鳥の図像ほか二、三の問題◎原口志津子

III 説話の宝庫としての本法寺本

本法寺蔵「法華経曼荼羅図」における絵画化されるテクストの位相◎本井牧子
本法寺蔵「法華経曼荼羅図」葉草喩品第五における救済のモチーフ◎小林直樹
本法寺蔵「法華経曼荼羅図」描き起こし図作成レポート◎石崎誠和
編集後記◎原口志津子

編者プロフィール

原口志津子(はらぐちしづこ)

奈良大学文学部教授。
専門は日本中世説話画「法華経絵」。
主な著書に「富山・本法寺蔵法華経
曼荼羅図の研究」(法蔵館、二〇一六
年)、「本法寺蔵法華経曼荼羅図——
法華経をめぐるイメージの世界——
(法蔵館、二〇二四年)、論文に「吹抜
屋台」について——源氏物語絵巻を
中心として」(京都大学大学院文学
研究科編「世界の中の「源氏物語」」、
臨川書店、二〇〇九年)などがある。

書名	部数
描かれた法華経 本法寺蔵「法華経曼荼羅図」の時空【アジア遊学301】 原口志津子「編」	定価3,300円(本体3,000円) A5判並製カバー装 232頁(口絵8頁+本文224頁) ISBN978-4-585-32547-5 C1315 2025年3月刊行
ご送付先(氏名・住所・電話番号)	

大谷由香 編

(おたに・ゆか)龍谷大学文学部特任准教授。専門は日本仏教・戒律思想。主な論文に「東アジアにおける「百五十戒の実践」―新出資料・元照撰『撰戒種類図』を通じて―」(末俣元一・近本謙介編『宗教遺産テクスト学の創成』勉誠出版、二〇二二年)、「通受の背景」(近本謙介編『ことば・ほとけ・図像の交響―法会・儀礼とアーカイヴ』勉誠出版、二〇二二年)、「中世律宗の復興の中の行基」(論集東大寺と行基菩薩)ザグレイトブダシンポジウム論集(二〇二〇年)などがある。

性なる仏教

誰しにも悟りの可能性が開かれることをときに強調し、多様な人格を許容しうるかのように見える仏教。しかし世俗社会からの支持や支援によって、仏教教団が成り立つからには、教団もまた性的役割分担をはじめとする社会的影響を受けざるを得ない。妻帯が禁止されている僧侶たちは、「家」を継承するためにどのような方法をとったのか。仏教を信仰する集団における、男性の美醜の基準とはどのようなものだったのか。仏教の中で女性はどうのような役割を負わされ、どのように理想化されていたのか。仏教学・歴史学・美術史学など、多様なフィールドの研究者が、女性や性的少数者など、仏教史上のマイノリティの存在に着眼し、仏教が想定してきた性のありように迫る。



定価 3,080円・本体2,800円
A5判並製カバー装・208頁
2025年2月刊行
ISBN978-4-585-32546-8 C1315
【アジア遊学 No.300】

序文……大谷由香

I 女性が出家すること／女性がさどること

東アジアにおける比丘尼受戒譚と三人の尼……大谷由香
仏性と女性……村上明也

II 性の超越と仏教

転変する性……岸田悠里
律蔵に記載される「性転換」した人々

III 理想化される女性像

浄土真宗本願寺派における母親像……小野嶋祥雄
[Column] 我を抱擁せよ

IV ルッキズムな仏教

美僧の登場……河上麻由子
玄奘の肖像と玄奘イメージの系譜……大島幸代
[Column] 僧侶の美醜……大谷由香

V 仏典とともに生きる女性たち

写経と女性……前島信也
[Column] 墮地獄の諸相……女性の墮地獄と救済……南宏信

VI 僧と家族／僧の家族

僧の女犯・妻帯と清浄性
――「僧の家」と女人禁制をめぐる……坪井剛
僧の妻の系譜、坊守の系譜……板敷真純

<p>書名</p> <h1>性なる仏教</h1> <p>大谷由香(編)</p>	<p>冊数</p> <p>定価 3,080円・本体2,800円 A5判並製カバー装・208頁 2025年2月刊行 ISBN978-4-585-32546-8 C1315 【アジア遊学 No.300】</p> <p>冊</p>
<p>ご送付先ご住所(通信欄)</p>	

道教文化と日本

東王公・西王母・司命・司籙・泰山・雷神・太歳・竈神(庚申信仰)、
墓葬壁画にみえる四神と仙人、神器としての鏡、劍、玉、
民間に流伝した風習や伝説、術数、風水、医薬学…。
古来、日本文化の中に見られる様々な道教的要素。
道教は、いつどのように日本に伝来したのか。

道教の東アジア的広がり、日本にどのような影響をもたらしたのか。
『道教的な要素』は、果たして本当に道教に由来していると言えるのか。
由来や存在形態などに未だ不明な部分が多い、
日本における「道教文化」。

陰陽道、神道、修験道、そして仏教など、
多角的な視点から文化要素の問題を再検討し、
日本における受容のありかたや、
日本文化への影響を解き明かす。



上・中津市本耶馬溪町古羅漢
下・王屋山王母洞

1950年設立。道教並びに広く東洋の民族的宗教・文化に関する諸般の研究を推進し、会員相互の連絡を計ることを目的とする。
<https://www.taostic-research.jp/>

日本道教学会〈編〉

はじめに……土屋昌明

総論

道教とは何か——唐代の道教を中心に……酒井規史
唐の玄宗からみた道教の日本への伝教……土屋昌明

第1部 陰陽道と道教

古代日本と道教——陰陽道成立の前提として……細井浩志
陰陽道の祭祀と道教……山下克明

日本における「盤法」と唐土「雷公式」……西岡芳文
道教の反閉と陰陽道の反閉……松本浩一

【コラム】道教の方術……松本浩一
【座談会】道教と陰陽道の関係をいかに研究するか
……西岡芳文・山下克明・細井浩志・松本浩一／土屋昌明(司会)

第2部 神道と道教

中世神道における道教受容——特に鎌倉時代の両部・伊勢神道書について……伊藤聡
【コラム】神道に残る道教文献——『老子述義』北斗経『修真九転丹道図』を中心に……松下道信
平安時代の著亀占について……奈良場勝

【コラム】陰陽五行説と中世神道論——附『東家秘伝』小考……原克昭
平田篤胤と道教の洞天思想……森瑞枝・土屋昌明

第3部 修験道と道教

道教と山岳信仰・修験道……鈴木正宗
修験道と道教——英彦山修験にみられる道教的要素の分析から……須永敬
山岳修験遺跡に見る道教思想の影響……山本義孝

中国の山岳信仰——名山への巡礼と峰への遊行……土屋昌明

第4部 混淆する道教文化

唐代密教史における道教的要素が存在する経典の成立背景について……岩崎日出男
諸教混淆と中世社会——福神・狐憑き・陰陽師……芳澤元
展望 和製戸解譚の軌跡……中前正志

三教一致説の展開——儒仏道から『先代旧事本紀大成経』の儒仏神へ……石井公成

あとがき／執筆者一覧

陰陽道・神道・修験道

定価4,180円・本体3,800円
A5判・並製カバー装・432頁
2025年3月刊行
ISBN978-4-585-31020-4 C1014

<p>書名</p> <p>道教文化と日本——陰陽道・神道・修験道</p> <p>日本道教学会〈編〉</p>	<p>冊数</p> <p>冊</p>
<p>ご送付先ご住所(通信欄)</p>	

定価4,180円・本体3,800円
A5判・並製カバー装・432頁
2025年3月刊行
ISBN978-4-585-31020-4 C1014

増補改訂版

二〇一〇年に刊行され好評を博し、長らく入手不能となっていた同書に、最新の知見を盛り込んだ論考二本を増補、座談会を刷新した決定版！

道教美術の可能性



道教史をモノから見る

東アジアにおいて道教はどのようなかたちで存在したのか。道教は文化要素としてどのように展開し、変容していったのか。東アジアでの道教の広がりを踏まえつつ、道教が変容した諸相を探索。壁画や尊像・道壇などの儀礼空間で使用されるモノ、道教の使うアイテムや護符、經典や書籍など、美術作品や実物資料からのアプローチにより、文献や儀礼研究のみでは描き出すことの出来ない、立体的な道教史を再構築する。

定価 3,300円・本体3,000円
A5判・並製カバー装・280頁
2025年4月刊行
ISBN978-4-585-37019-2 C1071

カラー口絵

「道教美術の可能性」に寄せて…土屋昌明
座談会「道教美術研究の新展開」
…齋藤龍一×鈴木健郎×土屋昌明

◎総説

「道教美術」とは何か…鈴木健郎
道教の歴史…横手裕

◎道教美術の諸相と展開

漢代銅鏡にみえる神話および道教の図像について…李焯
道教美術における文字の問題…土屋昌明
道教像のすがたとひろがり…南北朝～唐時代…齋藤龍一
中世道教の法服と法具…田中文雄
中国絵画と道教…宋元時代を中心として…宮崎法子
唐宋時代の道教絵画…酒井規史
水陸会における道教的要素…高志緑
明清小説の版画に見える道教神…三清と如意…山下一夫
道壇と神画…丸山宏

◎日本における受容と融合

日本の君王、道士法を崇めず
— 古代日本における道教と文物の受容…増尾伸一郎
日本の中世仏画にみる道教…石川知彦
神道図像と道教美術の関わり
— 道教の美術「展」を経て…清水実
馬に跨る女神はどこから来たか
— 神道図像と道教をめぐって…門屋温
日本渡来の人々の神々…二階堂善弘
平田篤胤と「五岳真形図」…森瑞枝

◎東アジア、そしてオリエントとの邂逅

琉球の呪符…山里純一
朝鮮半島における道教美術…土屋昌明
古代オリエントと道教美術…大形徹



東京藝術大学准教授
専門は中国仏教・
道教美術史
齋藤龍一
専修大学教授
専門は中国宗教史
鈴木健郎
専修大学教授
専門は中国文学・思想史
土屋昌明
編

書名	冊数
増補改訂版 道教美術の可能性 齋藤龍一・鈴木健郎・土屋昌明〔編〕	冊
定価 3,300円・本体3,000円 A5判・並製カバー装・280頁 2025年4月刊行 ISBN978-4-585-37019-2 C1071	
ご送付先ご住所（通信欄）	

井上泰〔著〕

《絵語り》の日本中世

絵画に潜む表象主体の行為を探る

絵巻・物語絵などの絵画は、単に画題を絵で「伝達」するメディアではない。そこには制作にかかわる主体の画題への「解釈—表現」行為過程が介在している。その表象行為をめぐって、日本中世にはどのような特質が見られるのか。中世に制作された『信貴山縁起』、極楽寺蔵『六道絵』、『源氏物語絵詞』などを中心に、鑑賞者の解釈を誘発する、その表象の編成と仕組みを分析する。また、教育の場では絵画をどのように扱うことができるのか。実際の教育現場に携わった著者ならではの視点から、定番教材である『竹取物語』や『徒然草』を題材に、古典学習の拡充に向けた絵画の有効的な活用を提案する。

図版130点超
掲載!



〔著者プロフィール〕

井上泰(いのうえ やすし)

福山大学大学院教育センター准教授。専門は、国語科教科内容学で主に日本古典文学。主な論文に「国語科における言語文化学習をどうするか—中学二年生 芥川龍之介『蜘蛛の糸』の授業実践から考える」(『日本文学』72巻2号、日本文学協会、二〇二三年二月)、「兵庫県極楽寺蔵『六道絵』の《絵語り》」(『国文学』第200号、広島大学国語国文学会、二〇〇八年十二月)などがある。

〔目次〕

序 研究の目的と方法

第一節 研究の目的 第二節 研究の方法

第一章 《絵語り》論序説

第一節 問題の所在／第二節 鑑賞主義的な解釈／第三節 画面構成による絵画の語り／第四節 物語とは直接関係のない絵画表現／第五節 隠喩の文脈／第六節 主題の複層性／第七節 まとめ

第二章 説話画の《絵語り》

第一節 問題の所在／第二節 『信貴山縁起』尼公巻をめぐってと名所絵／第四節 宿をとる尼公／第五節 《絵語り》の位相—観念と実像／第六節 まとめ

第三章 仏教説話画の《絵語り》

第一節 問題の所在／第二節 十王絵相の検討／第三節 六道絵相の検討／第四節 極楽寺蔵『六道絵』の《絵語り》／第五節 まとめ

第四章 物語絵の《絵語り》

第一節 問題の所在／第二節 『源氏物語絵詞』をめぐって語りと時間／第四節 《絵語り》と心情(人)／第五節 《絵語り》と意味／第六節 まとめ

第五章 教材としての絵画(一)

第一節 問題の所在／第二節 教科書における絵画資料の使用目的／第三節 指導書における絵画資料の使用目的とその検討／第四節 絵画資料の有効的な活用/第五節 中学校の古典学習におけるまとめ／第六節 『源氏物語絵巻』『御法』を用いた活動／第七節 『源氏物語』御法巻の学習の狙い／第八節 絵画資料の有効的な活用/第九節 高等学校の古典学習におけるまとめ／第十節 教材としての絵画

第六章 教材としての絵画(二)

第一節 『竹取物語』の挿絵を用いた活動／第二節 活動を通して得られた学習の効果／第三節 『竹取物語』学習のまとめ／第四節 『徒然草』を用いた活動／第五節 絵画テキストの使用目的／第六節 単元について／第七節 授業構成／第八節 学習者の反応／第九節 『徒然草』学習のまとめ

結 研究の総括

第一節 本研究の概要／第二節 日本中世の《絵語り》の諸相／第三節 日本中世の《絵語り》の特質
あとがき
初出一覧／参考文献／索引(事項／人名／書名)

定価 **9,900** 円
(本体 9,000 円)
A5判上製カバー装・352頁
ISBN 978-4-585-37013-0 C3071
2025年3月刊行

書名	部数
《絵語り》の日本中世	
井上泰〔著〕	
定価9,900円(本体9,000円)	
A5判上製カバー装・352頁	
ISBN978-4-585-37013-0 C3071	
2025年3月刊行	部
ご送付先(氏名・住所・電話番号)	

宋代士大夫官僚の 基層社会と構造

宋代の士大夫官僚は、地方社会より出現し、都市に住んで鄉村社会を支配した。

科挙によって採用され、帝国の忠実な官僚となった彼らが基盤とした鄉村はどのような構造をなしていたのか。そしてそこにおける彼らの地位はどのようなものだったのか。

祭りや行事の寄進者名や寄金高、

石刻史料にのこる道路工事への出資者名、地名にのこる著名人の名前などを手がかりに、宋代の地域指導者の存在やその社会の構成を探る。

第三部 余録

知識人としての宋代士大夫官僚

- 一 知識人論への提言
——宋代史研究者からみた中国史研究の課題——の総括にむけて
 - 二 知識人論展開への共通知識のために
 - 三 宋代の士大夫覚え書——あらたな問題の展開のために
- 都市と組織
- 一 宋代の都市管理者達——序章として
 - 二 中国庶民教育研究のための序章——特に宋代を中心にして
 - 三 宋代都市における社会救済事業——宋公共墓地出土の磚文を事例に
 - 四 東南アジアにおける中国人街の形成と中国の都市——チャイナ・タウン研究試論
 - 五 中国の浮梁——日本の舟橋との関連において
 - 六 宋代の道路建設と寄進額——寧波発見の博多在住宋人の磚文に関して
 - 七 宋代社会と銭——庶民の資産力をめぐって
 - 八 『宋會要』研究の現状と展望

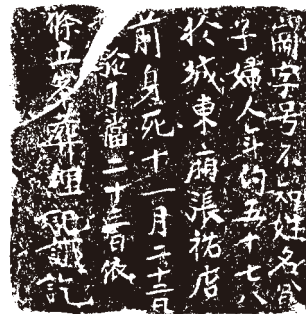
後記／索引

第一部 南宋政権下の四川

- 一 南宋四川における呉氏の勢力——呉曦の乱前史
- 二 南宋四川における呉曦の乱後の政治動向
- 三 南宋総領所の任用官——「開禧用兵前後の四川を中心に
- 四 専制国家と地域

伊原弘
〈著〉

(いはら・ひろし)一九四四年生まれ。元・城西国際大学国際人文学部講師。中国都市史、社会史を中心に旺盛な研究・執筆活動を展開。『宋と高麗』『世界の歴史』7「宋と中央ユーラシア」、中央公論新社、一九九七年、『清明上河図』をよむ(編著)勉誠出版、二〇〇三年、『宋代の世界』(編著)勉誠出版、二〇〇九年、『中国都市の形象』(勉誠出版、二〇〇九年)、『清明上河図』と徽宗の時代(勉誠出版、二〇一一年)、『宋代中国都市の形態と構造』(勉誠出版、二〇一〇年)など多くの編著書がある。



定価 13,200円・本体12,000円
A5判・上製カバー装・592頁
2025年4月刊行
ISBN978-4-585-32049-4 C3022

書名	冊数
宋代士大夫官僚の基層社会と構造 伊原弘〈著〉	冊
定価 13,200円・本体12,000円 A5判・上製カバー装・592頁 2025年4月刊行 ISBN978-4-585-32049-4 C3022	
ご送付先ご住所(通信欄)	

株式会社勉誠社

※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠社宛にお申し出ください。
東京都千代田区神田三崎町2-18-4 TEL.03-5215-9021 <https://bensei.jp/>

FAX●03-5215-9025

小二田章 〔編〕
KONITA Akira

1979年生まれ。放送大学人間と文化コース准教授。専門は近世中国史、宋代以降の地方志編纂、東アジアの地方史誌。著書・論文に『咸淳臨安志』の位置——南宋末期杭州の地方志編纂（『中国——社会と文化』第28号、2013年）、『書物のなかの近世国家——東アジア「一統志」の時代』（共編、勉誠社、2021年）、「地方史誌」研究事始——近世日本の比較検討から（『史観』第186冊、2021年）、『地方史誌から世界史へ——比較地方史誌学の射程』（編著、勉誠社、2023年）などがある。

地方史誌から世界を読む

定価8,800円・本体8,000円

A5判上製カバー装・352頁・2025年1月刊行・ISBN978-4-585-32064-7 C3020

歴史を中心に地方のあり方を描き出す総合的書物、「地方史誌」。
これまでの研究では記載内容が参照されるだけで、「地方史誌」それ自体の総合的検討はなされてこなかった。
しかし、世界に目を向けてみれば、各地の文化・集団に寄り添う「地方史誌」は
歴史叙述・歴史認識に結びつきその比較検討は世界史的な課題と言える。
本書では、世界各地の「地方史誌」における叙述の主体、また、対象となる場や事柄、
さらには近代に至るまでの受容の諸相を考察し、「地方史誌」を比較検討するための礎を提示する。

【もくじ】

序論 「地方」から「世界」に進むために……小二田章

1. 「地方」とはどこか

前近代アラビア語圏における歴史 Ta'rikh と地誌 Khīṭāṭ —— エジプトにおけるその展開……荒井悠太
13～14世紀イルハン朝期イラン「地方史」少考——モンゴルの支配は地方からどう見たか……渡部良子
「ビザンティン・コモンウェルス」と中世バルカン半島の知識人——文化伝播における中央・地方の関係を中心に……唐澤晃一
日本中世における「地方史誌」の可能性——『峯相記』を中心に……苅米一志
「邪馬臺国」と「邪馬一国」——『大明一統志』日本国の条の史料源と明中期の学術……高井康典行

2. 「地方」の何を描くのか

『テュルク系譜』3写本に増補されたクリミアのハンたちに関する記述について——付クリミア・ハン国史書簡介……長峰博之
八代市立博物館未来の森ミュージアム蔵『八代名所集』について……真島 望
政治環境と清代・大同における志書の編纂……張繼瑩
朝鮮後期における邑誌編纂事業の概観……李在斗（訳：金鉉洙）
近世ベトナム王朝の地方誌に見る知識人の世界観——『興化処風土録』から『興化記略』へ……岡田雅志

3. 「地方史誌」の向かう先

18世紀後半～19世紀初頭に成立したベトナム北部山地関連史料について——『諒山団城図』・『高平実録』を中心に……吉川和希
オスマン帝国における「一統」の在り方——『国家年鑑』と『州年鑑』……大河原知樹
近代移行期中央アジアにおける歴史叙述の転換——ユースポフ『歴史』を中心に……塩谷哲史

編集後記……小二田章 / Summary / 執筆者一覧

書名	冊数
地方史誌から世界を読む 小二田章〔編〕	冊
定価8,800円・本体8,000円 A5判上製カバー装・352頁 2025年1月刊行 ISBN978-4-585-32064-7 C3020	
ご送付先ご住所（通信欄）	

中国の女性演劇

中山文〈著〉

(なかやまふみ博士(文学)、大阪外国語大学中国語学科同大学院修士課程修了、神戸学院大学人文学部・人間文化科学研究科地域文化論専攻東アジア文化論講座教授。北京大学・復旦大学訪問教授。専門は中国文学・演劇。おもに中国演劇におけるジェンダー表象の研究、喻榮軍作品の翻訳。近年は演劇教育、シンクロロジーにおける演劇の可能性に取り組み、共編著に『新版 越劇の世界 中国の女性演劇』(Kanshū, 2019年)。主な論文に「姉妹の越劇―姚水娟・袁雪芬・桂芳の時代」(中国ジェンダー研究会編『中国の娯楽とジェンダー』女が変える／女が変わる』勉誠社、2022年3月)など多数。

越劇とジェンダー



カラー口絵
越劇とはなにもものか？

序章 越劇とジェンダー

第一章 越劇とジェンダー

第二章 越劇とジェンダー

第三章 越劇とジェンダー

第四章 越劇とジェンダー

第五章 越劇とジェンダー

第六章 越劇とジェンダー

第七章 越劇とジェンダー

第八章 越劇とジェンダー

終章 越劇とジェンダー

索引

ジェンダー視点から読み解く越劇と近代

えつげき

十九世紀中頃に浙江省で生まれ、「京劇に次ぐ第二の劇種」と称されるようになった「越劇」。なぜ女性が男性役を演じる女性演劇が生まれたのか。そこでは何がテーマとされたのか。女優たちは男性俳優から何を学び、学ぶことをやめたのか。また、観客たちは何を求めたのか。

越劇の形成・展開に重要な役割を果たしてきた

環境や人々をジェンダーの視点から考察し、時代や社会のニーズに応じてスタイルを変え続ける越劇の姿を、一人の女性の成長史として読み直すユニークかつ意欲的な試み。



越劇の変遷

浙江省男性農民の田舎芝居にはじまる「男たちの越劇」は、彼らに指導された「少女の越劇」時代を経て一九四〇年代の上海で「姉妹の越劇」として女性の芝居へと変容を遂げる。中華人民共和国成立後は、中国共産党の指導により政治的な作品を生み、文化大革命という政治的混乱に翻弄される。父の越劇時代を迎える。八十年代には故郷浙江省で女性の理想を詩的に描く「母の越劇」が誕生し、二十一世紀に入ると女性の多様な生き方を描く「女たちの越劇」へと変容する。



定価 8,250円・本体7,500円
A5判・上製カバー装・口絵8+352頁
2025年3月刊行
ISBN978-4-585-37018-5 C3074

<p>書名</p> <h2>中国の女性演劇</h2> <p>越劇とジェンダー</p> <p>中山文〈著〉</p> <p>ご送付先ご住所（通信欄）</p>	<p>冊数</p> <p>定価 8,250円・本体7,500円 A5判・上製カバー装・口絵8+352頁 2025年3月刊行 ISBN978-4-585-37018-5 C3074</p>	<p>冊</p>
--	---	----------

日本人の読書

新装版

古代・中世の学問を探る

佐藤道生 [著]

人びとは何を読み、
どのように学んできたのか――

古代・中世の日本において、

書物を読み、解釈し、伝えていくことは、

限られた人びとにのみ許される特権的な営みであった。

特に中国大陸ないしは朝鮮半島経由で伝えられた

漢籍(漢語で書かれた書物)は、国家を支える政治や法、

さらには思想や文化体系を伝える最先端のものとして重要視された。

中国の文化全般を学ぶことを目的とした

これらの学問――漢学――は、国家の制度のなかにも位置付けられ、

それを担う家では、書写・刊行された諸種の漢籍を入手し、

独自の学問を形成していった。

書物に残された注釈の書き入れ、来歴を伝える識語、

古記録や説話に残された漢学者の逸話など、

漢籍の読書の高まりをいまに伝える諸資料から

古代・中世における日本人の読書の歴史を明らかにする。

本書ではじめてフルカラー公開する資料

『清涼山伝』／『文選集注』巻七断簡／『文選集注』巻百十一断簡

金澤文庫本『文選集注』巻六十二残簡／『佐保類切』『施氏七書講義』断簡

『佐保類切』『施氏七書講義』残簡／『道德経切』『老子道德経』断簡

著者プロフィール

佐藤道生(さとう みちお)

一九五五年生まれ。慶応義塾大学名誉教授。専門は古代・中世日本漢学。主な著書に『平安後期日本漢文学の研究』(笠間書院、二〇〇三年)、『三河鳳来寺旧蔵曆応二年書写和漢朗詠集影印と研究』(勉誠出版、二〇一四年)、『句題詩論考――王朝漢詩とは何ぞや』(勉誠出版、二〇一六年)、『玉葉』に見られる課試制度関連記事の検討(『恋車期の社会と九条兼実』、『玉葉』をひらく) 勉誠出版、二〇一八年) などがある。

貴重資料の
収録点数
総50超!

※本書は『日本人の読書』
(二〇一三年九月刊行) の新装版です。

目次

カラー口絵

◎本編

第一章 古代・中世 日本人の読書

第二章 日本に現存する漢籍古写本
――唐鈔本はなぜ読み継がれたのか

第三章 古代・中世 漢文訓読史

第四章 平安貴族の読書

第五章 藤原道長の漢籍蒐集

第六章 藤原兼実の読書生活――『素書』と『和漢朗詠集』

第七章 養和元年の意見封事
――藤原兼実「可依変異被行撰災事」を読む

第八章 『論語疏』中国六世紀写本の出現

第九章 平安時代に於ける『文選集注』の受容

第十章 金澤文庫本『春秋経伝集解』奥書の再検討

第十一章 室町後期に於ける『論語』伝授の様相
――天文版『論語』の果たした役割

第十二章 清原家の学問と漢籍
――『論語』を例として訓点と注釈書との関係を考える

第十三章 吉田家旧蔵の兵書
――慶応義塾図書館蔵『七書直解』等の紹介を兼ねて

第十四章 『佐保切』追跡
――大燈国師を伝称筆者とする書蹟に関する考察

第十五章 伝授と筆耕――呉三郎入道の事績

第十六章 『古文孝経』永仁五年写本の問題点

第十七章 猿投神社の漢籍古写本
――『史記』『春秋経伝集解』の書写者を探る

◎附篇

第十八章 『朝野群載』卷十三の問題点

第十九章 日本漢学史上の句題詩

第二十章 『本朝麗藻』所収の積奠詩――句題詩の変型として

第二十一章 藤原有国伝の再検討

第二十二章 大江匡房と藤原基俊

第二十三章 大江匡房の著作と『新撰朗詠集』

第二十四章 平安後期の文章得業生に関する覚書

第二十五章 『玉葉』に見られる課試制度関連記事の検討

第二十六章 平安時代の詩宴に果たした謝霊運の役割

あとがき／初出一覧／図版一覧／索引

定価 11,000 円(本体 10,000 円)

A5判・並製カバー装・
520頁+カラー口絵16頁
ISBN978-4-585-39047-3 C3091
2024年12月刊行

定価 11,000 円(本体 10,000 円)

A5判・並製カバー装
520頁+カラー口絵16頁
ISBN978-4-585-39047-3 C3091
2024年12月刊行

日本人の読書 新装版

古代・中世の学問を探る

佐藤道生 [著]

ご送付先ご住所・氏名 (通信欄)

近代製本の100年

製本とは人である。

折る、重ねる、綴じる、表紙を付ける……。

製本には様々な工程があり、それぞれの作業を得意とする工場によるリレーの中で書物としてのかたちが作り上げられていく。

日々進歩する製本機械のオペレーティング、昔と変わらない手作業でしかできない工程、そして各工程を担う工場をまとめ上げる人脈。

製本という営為には確実に人が関わり、技術の刷新と継承が行われている。

製本の現場、工程、技術、そこに携わる人々のあり様に迫り、書物文化の100年を製本という側面から考える。

大正13年創立の「京都製本紙截同盟会」から始まって、今年100周年を迎える京都府製本工業組合の面々による座談会も収録。

京都の製本を支えてきた現場の方たちの研鑽の歴史、製本の現在の生の声をお届けする。

目次	序言——磯部敦	製本コラムを収録!! 安井海洋[著]	綴じ 折丁 特殊製本
	製本研究へのアプローチ——磯部敦		
	中国から来た洋式製本術——木戸雄一		
	木版挿絵本の製本から見る著者と造本者の意向——泉鏡花『絵本辰巳巷談』——真田幸治		
	変態する書物——吉井勇『酒ほがひ』二種の「再版」本——山中剛史		
	これからの製本研究者のために(Q&A)——安井海洋[編]		

【座談会】京都の製本 過去・現在・未来

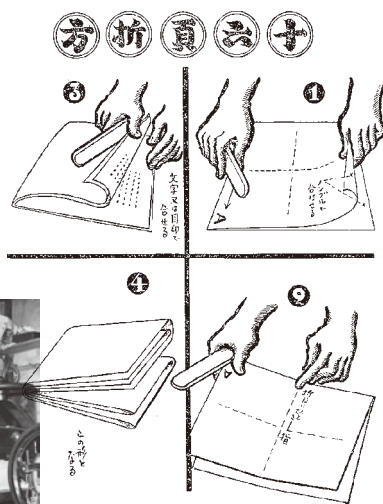
山崎喜市(山崎紙工株式会社)・早瀬篤史(新日本製本株式会社)・蒲田敏也(株式会社蒲田文寿堂)・大入達男(株式会社大入)・田辺元(有限会社シミズ表紙)・藤原智之(藤原製本株式会社)・酒本賢史(有限会社酒本製本所)・加悦史高(加悦日進堂製本所)
聞き手:磯部敦・安井海洋

●連載

書物の声を聞く書誌学入門[第23回]——佐々木孝浩

松朋堂新収古書解題[第7回]——佐藤道生

西洋古書の遠近法[第14回]——雪嶋宏一



書物学 27



定価 2,200円・本体2,000円
B5判・並製フルカラー・98頁
2025年4月刊行
ISBN978-4-585-30727-3 C1000

書名	冊数
近代製本の100年 編集部「編」 書物学 No.27	定価 2,200円・本体2,000円 B5判・並製フルカラー・98頁 2025年4月刊行 ISBN978-4-585-30727-3 C1000
ご送付先ご住所(通信欄)	

デジタルアーカイブ入門

つかう・つくる・支える

柳与志夫・渡邊英徳——責任編集

東京大学
大学院情報学環特任教授

東京大学
大学院情報学環教授

定価4,620円・本体4,200円
A5判・並製カバー装・464頁
2025年5月刊行
ISBN978-4-585-30015-1 C1000

【編集委員】

井上奈智・大井将生・嘉村哲郎・塩崎亮・高田百合奈・原田真喜子・山下ユミ
近畿大学 同志社大学 東京藝術大学 聖学院大学 青山学院大学 都留文科大学 京都府立図書館
東京大学

収録項目

第1章

- ◎画像◎音声◎映像◎立体と3Dモデル
- ◎補正技術◎フォーマット◎ウェブ開発技術
- ◎ネットワークとクラウド技術
- ◎サーバー・ストレージシステム
- ◎AI◎データ/メタデータ◎GIS

第2章

- ◎学術利用◎教育利用◎防災利用
- ◎商用(B to C)・産業利用(B to B)
- ◎観光・地域振興目的◎行政サービス
- ◎統合的デジタルアーカイブ
- ◎参加型デジタルアーカイブの背景と多様性

第3章

- ◎参加型デジタルアーカイブの欧米における事例◎日本の事例
- ◎参加型デジタルアーカイブの形態をとるその他の事例

第4章

- ◎「つかう」ときの著作権の関わり◎権利情報の調査と処理
- ◎寄託・寄贈によるコンテンツの処理◎パブリックライセンス
- ◎オープンソースとAPI(Application Programming Interface)
- ◎フェアユースの考え方と事例◎関係する政策と制度
- ◎AIのための学習データセット

第5章

- ◎デジタルアーカイブの評価とは◎自己評価
- ◎アウトカムに着目した評価◎評価のアップデート

第6章

- ◎目的と方針の策定◎資金調達の仕事◎デジタル化する対象の選定
- ◎デジタルアーカイブ公開に備えた著作権処理◎デジタル化作業
- ◎オープンデジタルコンテンツの収集・保存・構造化
- ◎メタデータの作成と運用◎システム基盤の検討

第7章

- ◎デジタルアーカイブのUX・UI◎検索システムの設計と工夫
- ◎コンテンツ編成(データの利用)◎デジタルアーカイブシステムプラットフォーム
- ◎SNSを利用した情報発信◎バーチャル・リアリティ(VR)への展望

第8章

- ◎著作権処理の全体像◎肖像権◎個人情報保護
- ◎プライバシー権、パブリシティ権◎利用条件設定

第9章

- ◎管理運営主体◎運営体制:概要と事例◎予算・コスト◎継続、移行(移管)、閉鎖
- ◎データの保管(長期保存)◎実空間とデジタル空間における展示とその架橋
- ◎デジタルアーカイブの連携◎デジタルアーカイブの個人での学び方

第10章

- ◎デジタルアーカイブに関わる政策◎データ公開基盤
- ◎プラットフォームと制度◎サイバーセキュリティ対策

これを読めば「デジタルアーカイブ」がわかる!

AI、ビッグデータ解析、ブロックチェーン、クラウド技術、RAG…。

デジタル技術の進化によって、

「保存」「記録」の概念は大きな変化を遂げつつある。

その中で「真正な記録」を残し、「共有」と「再創造」の場を提供することがデジタルアーカイブ(DA)のあらたな使命となる。

『入門 デジタルアーカイブ』(2017年刊行)以降も日進月歩で変化し続けるDAにまつわる事象・事項を、実際にDAの現場に携わる執筆者陣がわかりやすく、網羅的に解説。同書とは内容・項目を全面的に刷新し、最新の情報を提供。基礎を知り、学ぶために必携の一冊!

本書の構成

第I部 つかう

- 第1章 つかうための技術
- 第2章 様々な種類のデジタルアーカイブ事例と目的に沿った利用方法
- 第3章 参加型デジタルアーカイブ
- 第4章 二次利用(多次利用)の仕方——つかう側の視点から
- 第5章 デジタルアーカイブの評価

第II部 つくる

- 第6章 デジタルアーカイブの構築工程
- 第7章 デジタルアーカイブの公開・提供その1——ICTシステムの設計
- 第8章 デジタルアーカイブの公開・提供その2——法規対策

第III部 支える

- 第9章 デジタルアーカイブの管理運営
- 第10章 政策・社会制度

付録 デジタルアーカイブに関わる主要な学術団体、産業団体等

書名	冊数
デジタルアーカイブ入門 つかう・つくる・支える 柳与志夫・渡邊英徳〈責任編集〉	定価4,620円・本体4,200円 A5判・並製カバー装・464頁 2025年5月刊行 ISBN978-4-585-30015-1 C1000

ご送付先ご住所(通信欄)

日本中世の宗教世界



聖徳太子二歳像

現代の我々の想像を遙かに超えて、

中世の日本は、宗教的なものに満ちた世界であった。

それは、単に神仏への信仰という観念的なことでなく、

何らかへ聖なるものへの存在や働きを、

日常に身体感覚を通して直接に受けとめたり、

反対に人から何者かへ訴え、

働きかけるダイナミックな(冥と顕)の相互の交信が、

絶えず繰り返り広げられていた世界だったのである――。

各地に伝存する多種多様な寺院資料を紐解き、

また、文学・絵画・建造物・芸能といった

諸メディアとの連環をとらえ、

中世日本における豊饒な宗教的世界観を

立体的かつ通史的に描き出す必読の書。

学界を領導する十八名の研究者による

最先端の研究状況をまとめて一冊で知ることの出来る

中世日本の社会・思想・文化を考えるための

充実のレファレンスツール！

序論 本書の構成とみどころ……佐藤愛弓・牧野淳司

第I部 中世宗教テクストの生成

一・思想——日本中世をどう見るか

思想史の中世……末木文美士

神祇の歴史から考える中世前期における神と仏の関係性……岡田莊司

二・法会——宗教の社会的・歴史的要義

歴史学から仏教儀礼を読み解く

法会・修法のかたちとその変遷を考える……上島享

法会の場——内論義の会場をめぐって……山岸常人

三・僧侶——時代・社会とどう向き合うか

中世日本の表現主体が創出する宗教世界

貞慶と慈円の権田宗教空間……阿部泰郎

目を閉じて坐禅をした明恵上人……高橋秀栄

東大寺資料からみる寺院資料生成論

宗性撰述聖教と交衆・通世……横内裕人

四・文庫——聖教の集積と伝来

秘匿と流伝の法流形成——鎌倉時代勸修寺流の展開について……佐藤愛弓

称名寺聖教の形成と劔阿……高橋悠介

大須文庫の生成——真福寺創建期歴代の活動とその周辺……三好俊徳

第II部 よみがえる中世の宗教世界

一・宗教空間の創出

大峯信仰史の創出——「大菩提山仏生土要事」をめぐって……川崎剛志

中世宗教空間を創りだす宣陽門院——その宗教的主体性を中心に……阿部美香

二・神と仏の姿

受肉するカミ——垂迹信仰と生身信仰の接合……伊藤聡

観音・媽祖・マリア——日中欧の交流と女神のメタモルフォーシス……松尾恒一

三・文芸への広がり

西行和歌と神仏習合儀礼——伊勢神宮詠「深く入りこをめぐって……船田淳一

六道釈と『平家物語』「祇園精舎」……牧野淳司

四・絵画への広がり

愛執の図像学——中世説話画に描かれた愛と発心……山本聡美

「真宗系」・「南都系」聖徳太子絵伝の再検討……村松加奈子

刊行にあたって……阿部泰郎

編集後記……佐藤愛弓・牧野淳司

定価 9,350円・本体8,500円
A5判・並製カバー装・584頁
2025年5月刊行
ISBN978-4-585-31021-1 C3014

<p>書名</p> <h2>日本中世の宗教世界</h2> <p>阿部泰郎(監修)佐藤愛弓・牧野淳司(編)</p>	<p>冊数</p> <p>定価 9,350円・本体8,500円 A5判・並製カバー装・584頁 2025年5月刊行 ISBN978-4-585-31021-1 C3014</p>
<p>ご送付先ご住所(通信欄)</p>	